

八王子市文化財年報

第 14 号

令和元年度（2019 年度）

八王子市教育委員会

八王子市文化財年報 第 14 号 令和元年度（2019 年度）

目次

I	管理・運営概要	1
1	組織（令和 2 年（2020 年）3 月 31 日現在）	1
2	文化財保護審議会	2
(1)	委員一覧	2
(2)	開催実績	3
II	事業概要	4
1	文化財の保護	4
(1)	現状変更	4
(2)	国指定史跡八王子城跡の保存整備	6
(3)	「八王子車人形」の学術調査及び報告書作成事業	7
(4)	補助金の交付	8
(5)	文化財管理公開謝礼金	9
(6)	その他	9
2	講座・講演	10
(1)	文化財見て歩き	10
(2)	民俗芸能	11
(3)	その他	12
3	ガイドボランティア	14
(1)	八王子城跡オフィシャルガイド	14
(2)	絹の道資料館ガイドボランティア	16
4	歴史文化基本構想・日本遺産	17
(1)	検討会参加者一覧（所属等は参加確定時のもの）	17
(2)	令和元年度（2019 年度）開催実績	18
(3)	「八王子市歴史文化基本構想（素案）」に対する意見募集（パブリックコメント）実績	18
(4)	日本遺産認定申請	19
5	埋蔵文化財の発掘調査	20
(1)	調査概要	20
(2)	報告書の刊行	35
(3)	遺物受入数量	35
(4)	一覧	36
III	文化財研究報告	46

I 管理・運営概要

1 組織（令和2年（2020年）3月31日現在）

本市の文化財行政は、教育委員会事務局に置かれる生涯学習スポーツ部文化財課が所管している。文化財課では、平成29年度（2017年度）まで、文化財担当・郷土資料館担当の2担当に分かれて業務を行っていたが、平成30年度（2018年度）より、歴史文化基本構想の策定に着手するため、同構想の策定を担当する「歴史文化構想担当」を新たに創設したことで、3担当に分かれて業務を行うこととなった。本書では、令和元年度（2019年度）に文化財担当と歴史文化構想担当が所管した事業等について紹介する。郷土資料館担当が所管した事業等については、別に刊行される『郷土資料館研究紀要 八王子の歴史と文化』の中で紹介する。

文化財担当の主な業務は、指定文化財の保存・活用、埋蔵文化財の保護・調査、国史跡八王子城跡ガイダンス施設と絹の道資料館の管理・運営である。

歴史文化構想担当の主な業務は、歴史文化基本構想の策定である。

令和元年度（2019年度）の機構は以下のとおりである。

教育長 安間 英潮

生涯学習スポーツ部長 小山 等

文化財課長（郷土資料館長兼務） 菅野 匡彦

課長補佐兼主査 土田 守

主査 久田 伸之

主任 深澤 美紀代 山本 泉（学芸員） 梅澤 玲子〔8月1日～〕

主事 柴田 恭典〔～7月31日〕 鈴木 央樹〔～8月4日〕

吉村 航季（学芸員）〔8月5日～〕

横川 貴衣（学芸員） 上田 真紀（学芸員）

嘱託員 村山 修（埋蔵文化財専門員） 石垣 知倫（埋蔵文化財専門員）

服部 真里（文化財専門員）

歴史文化構想担当課長（都市戦略部日本遺産準備担当課長併任） 平塚 裕之

主査 草間 亜樹（学芸員）（都市戦略部都市戦略課併任）

主任 中山 美紀（都市戦略部都市戦略課併任）

主事 松田 明彦（都市戦略部都市戦略課併任）

嘱託員 山本 昂伯（文化財調査員）

山本 二郎（文化財調査員）

2 文化財保護審議会

八王子市文化財保護条例に基づき、八王子市文化財保護審議会が設置されている。文化財保護審議会は、教育委員会の諮問に応じて文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議し、答申を行う。令和元年度（2019年度）は3回の会議を開催した。

令和元年（2019年）10月31日に全委員（13名）の任期が満了を迎えるため、新たに委員を選定し、同年11月1日に14名を委嘱した。その結果、3名の委員が退任、10名の委員が再任、4名の委員が新任となった。

(1) 委員一覧

※◎は会長、○は副会長

※退任となった委員の任期は令和元年（2019年）10月31日まで

再任・新任となった委員の任期は令和4年（2022年）10月31日まで

氏名	所属（委嘱時点のもの）	専門分野	R1. 10. 31 任期満了に伴う改選
◎ 相原 悦夫	元 八王子市市史編さん審議会 副会長	曳山美術史、社寺建築	再任
阿部 朝衛	帝京大学文学部史学科 教授	考古学	再任
岩橋 清美	法政大学 兼任講師	近世史	再任
○ 加藤 哲	都立高校 非常勤講師	中世史	再任
津山 正幹	日本民俗建築学会 幹事長	民俗建築学	再任
中村 ひろ子	元 神奈川大学 特任教授	民俗学	再任
西川 広平	中央大学文学部 准教授	中世史	再任
野嶋 和之	八王子千人同心旧交会 副会長	郷土史	再任
堀江 承豊	高尾山薬王院 法務部長	郷土史	再任
本間 岳人	池上本門寺 学芸員	石造文化財、考古学	再任
鹿島 繭	女子美術大学短期大学部 准教授	日本美術史	退任
神立 孝一	創価大学経済学部 教授	近世史	退任
菅原 敬	首都大学東京都市教養学部 准教授	植物	退任
青木 淳	多摩美術大学美術学部 教授	日本美術史	新任
内野 秀重	八王子市長池公園 園長	植物	新任
小林 直弘	東京芸術大学 教員	日本建築史、文化財保存学	新任
紺野 英二	立正大学文学部 特任講師	考古学	新任

(2) 開催実績

第1回

日時 令和元年（2019年）7月10日（水） 18時00分～20時00分

場所 八王子市役所 本庁舎 5階 501会議室

議題

報告事項

令和元年度文化財課事業について

記選 八王子車人形民俗文化財調査（祭り・行事を含む）事業について

「歴史を活かした魅力の発信」事業について -歴史文化基本構想の策定状況-

その他

第2回

日時 令和元年（2019年）10月25日（金） 18時00分～20時00分

場所 八王子市役所 本庁舎 7階 701会議室

議題

報告事項 「八王子市歴史文化基本構想（素案）」に対する意見募集（パブリックコメント）
の実施状況

その他

第3回

日時 令和元年（2019年）12月19日（木） 18時00分～20時00分

場所 八王子市役所 本庁舎 8階 801会議室

議題

八王子市文化財保護審議会委員の委嘱について

会長及び副会長の選任について

報告事項 本市の文化財行政について

その他

Ⅱ 事業概要

1 文化財の保護

(1) 現状変更

文化財保護法では、史跡や天然記念物に指定された文化財に関し、その現状を変更し、またはその保存に影響を及ぼす行為をしようとするときは、文化庁長官の許可を受けなければならない（文化財保護法第125条）と定められている。また、東京都文化財保護条例、八王子市文化財保護条例も史跡等に指定された文化財に関して、それぞれ東京都教育委員会、八王子市教育委員会の許可を受けなければならないと定められている。

なお、国及び東京都指定の文化財に関する現状変更のうち、文化財保護法施行令第5条第4項第1号、東京都文化財保護条例施行規則第25条に掲げるもの（工作物の設置・改修、伐採など）については、市教育委員会が処理を行うこととされている。

令和元年度（2019年度）に申請のあった史跡等に係る現状変更については以下のとおりである。

ア 国指定の文化財

(ア) 文化庁長官による許可

No.	種別	名称	現状変更に係わる場所	申請者	現状変更の概要	許可日
1	史跡	八王子城跡	元八王子町三丁目 2570-1、2573-1、 2575-1	個人	個人住宅建替	令和元年 (2019年) 5月17日
2	史跡	八王子城跡	元八王子町三丁目 2733-1	八王子市教育委員会	曳橋石積整備	令和元年 (2019年) 7月19日
3	史跡	八王子城跡	元八王子町三丁目 2705、2734-2	八王子市教育委員会	遺構確認調査及び 現状復旧（エントランス 広場・御主殿）	令和2年 (2020年) 1月17日
4	史跡	八王子城跡	元八王子町三丁目 2751-4 先	八王子市教育委員会	遊歩道（人道橋）設置工事	令和2年 (2020年) 1月17日

(イ) 八王子市教育委員会による許可

No.	種別	名称	現状変更に係わる場所	申請者	現状変更の概要	許可日
1	史跡	滝山城跡	丹木町二丁目 311 イ、ロ	特定非営利活動法人 滝山城跡群・自然と 歴史を守る会	林床整理・樹木 等の伐採	令和元年 (2019 年) 6 月 17 日
2	史跡	八王子城跡	元八王子町三丁目 2722 番 2	東京電力パワーグリ ッド株式会社	既設小柱の撤去	令和元年 (2019 年) 8 月 1 日
3	史跡	滝山城跡	高月町 2321 番地 (都立 滝山公園内)	西武・多摩部の公園 パートナーズ	枯損木の伐採	令和元年 (2019 年) 8 月 15 日
4	史跡	滝山城跡	高月町 2378 他	東京都西部公園緑地 事務所	樹木伐採	令和元年 (2019 年) 8 月 30 日
5	史跡	滝山城跡	丹木町二丁目 311 イ、ロ	特定非営利活動法人 滝山城跡群・自然と 歴史を守る会	林床整理・樹木 等の伐採	令和元年 (2019 年) 9 月 5 日
6	史跡	八王子城跡	元八王子町三丁目 2663 番 1	東京電力パワーグリ ッド株式会社	小柱の撤去・新 設	令和元年 (2019 年) 10 月 10 日
7	史跡	八王子城跡	元八王子町三丁目 2715 番 4 外	八王子市教育委員会	樹木伐採	令和元年 (2019 年) 12 月 17 日
8	史跡	八王子城跡	元八王子町三丁目 2734 番 2 外	八王子市教育委員会	樹木伐採	令和元年 (2019 年) 12 月 27 日
9	史跡	八王子城跡	西寺方町 140 番外	八王子市教育委員会	樹木伐採	令和元年 (2019 年) 12 月 27 日
10	史跡	八王子城跡	元八王子町三丁目 2734 番 2 外	八王子市教育委員会	樹木伐採	令和元年 (2019 年) 2 月 20 日
11	史跡	八王子城跡	元八王子町三丁目 2735 番	特定非営利活動法人 八王子城跡三ッ鱗会	樹木伐採	令和 2 年 (2020 年) 3 月 3 日
12	史跡	滝山城跡	高月町 232 番地 (都立滝 山公園内)	西武・多摩部の公園 パートナーズ	枯損木の伐採	令和 2 年 (2020 年) 3 月 5 日
13	史跡	滝山城跡	高月町 2371-2	八王子市	枯損木の伐採	令和 2 年 (2020 年) 3 月 23 日

イ 東京都指定の文化財

(ア) 東京都教育委員会による許可
なし

(イ) 八王子市教育委員会による許可
なし

ウ 八王子市指定の文化財

なし

(2) 国指定史跡八王子城跡の保存整備

国指定史跡八王子城跡について、適切な保存と歴史学習・観光資源としての活用に努めた。主に以下の特徴的な事業を行った。

ア 子ども手作り甲冑教室

未来を担う子どもたちに、八王子の名の由来と深くかかわりのある八王子城と、その築城者であり戦国時代の八王子を治めていた北条氏照について興味をもち、郷土の歴史や文化に愛着をもってもらうため、市内の小学生（保護者同伴）を対象に甲冑を作る教室を開催した。本事業は特定非営利活動法人八王子城跡三ッ鱗会に業務を委託して実施している。

(ア) 日 時 令和元年（2019年）8月10日（土） 9時00分～15時00分

説明・甲冑製作

8月11日（日） 9時00分～12時00分

甲冑製作・記念撮影

(イ) 会 場 八王子城跡ガイダンス施設

(ウ) 参加者 18組 36名

イ 案内板の設置

来訪者の利便性向上とPRを目的としてバスロータリーに案内板を設置した。また、市有地管理の看板の設置を行った。

ウ 用地取得

国史跡八王子城跡内の民有地を取得した。

土地購入費 14,790,968円（251,12㎡）

(3)「八王子車人形」の学術調査及び報告書作成事業

八王子市教育委員会では、「東京都指定無形文化財」に指定され、国の「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」に選択されている「八王子車人形」について、学術調査及び報告書作成事業に平成 29 年度（2017 年度）から令和元年度（2019 年度）まで取り組んだ。事業の実施にあたっては、“「記選 八王子車人形民俗文化財調査（祭り・行事）事業」報告書作成に係る検討会”を組織した。

令和元年度（2019 年度）は、前年度に引き続き、八王子車人形五代目家元西川古柳氏への聞き取り調査、八王子車人形の衣裳制作者等への聞き取り調査を行い、さらに 3 年間の調査成果を報告書としてまとめる作業を行い、令和 2 年（2020 年）3 月、『八王子車人形調査報告書』を刊行した。調査及び報告書作成にあたっては、文化庁の国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金を活用した。

ア 令和元年度（2019 年度）確認資料（数字は延べ点数を表す）
西川古柳座所蔵車人形資料 67 点
聞き取り調査 7 件

イ 検討会参加者

座長	大谷津 早苗	昭和女子大学教授
	安蔵 裕子	昭和女子大学教授
	佐藤 広	八王子市市史編さん室元室長
	細田 明宏	帝京大学教授
オブザーバー		
	中村 ひろ子	八王子市文化財保護審議会委員 文化庁文化財調査官 東京都教育庁文化財調査担当

ウ 『八王子車人形調査報告書』
372 ページ オールカラー
発行：八王子市教育委員会
非売品 300 部

エ 概要

歴史的変遷も含めた記録を網羅的に示した章と論考、八王子以外の車人形の状況、八王子車人形の価値と特色を総括した章で構成されている。付録 DVD には昭和初期の貴重映像や五代目西川古柳実演による型（操法）の記録などを収録した。



調査の様子



『八王子車人形調査報告書』

(4) 補助金の交付

市内の指定文化財を良好な状態で保つことができるよう、以下の事業に対し補助金を交付した。

ア 八王子市指定有形文化財「山車」「神輿」等

(ア) 八王子市指定有形文化財「山車」保管庫地代

- a 内 容 八王子市指定有形文化財「山車」を保管するための保管庫の地代補助。
- b 事業費 1,193,248 円
- c 補助金 949,000 円

(イ) 多賀神社神輿保存伝承

- a 内 容 市指定文化財である多賀神社神輿を良好な状態で保存・管理する。
- b 事業費 180,000 円
- c 補助金 100,000 円

(ウ) 本町連合町会 山車鋳金具の光沢メッキ復元

- a 内 容 山車鋳金具の損壊、損失箇所を修復し、光沢メッキを施した。
- b 事業費 2,950,000 円
- c 補助金 2,360,000 円

イ その他文化財補助事業

(ア) 八王子消防記念会（木遣）半纏新調

- a 内 容 木遣を行う時の正装である半纏を新調した。
- b 事業費 164,700 円
- c 補助金 131,000 円

(イ) 諏訪神社 古宮屋根修理工事

- a 内 容 諏訪神社の古宮（子の権現旧本殿覆い屋）屋根の劣化が激しかったため、屋根の取り換え等傷んでいる部分を修復した。
- b 事業費 446,954 円
- c 補助金 356,000 円

(ウ) 狭間獅子舞保存会 法螺貝及び棒術の棒の購入

- a 内 容 個人の物を使用していた法螺貝を保存会専用として購入新調するとともに、新規で増えた子供用に棒術用の棒を新調した。
- b 事業費 326,446 円
- c 補助金 260,000 円

(エ) 東京都指定無形文化財八王子車人形保存伝承事業

a 内 容 後継者の育成や技芸錬磨等。

b 事業費 762,000 円

c 補助金 250,000 円

(オ) 東京都指定無形文化財説教浄瑠璃保存伝承事業

a 内 容 後継者の育成や技芸錬磨等。

b 事業費 270,000 円

c 補助金 80,000 円

(5) 文化財管理公開謝礼金

市指定文化財の管理者等に対して、文化財管理公開謝礼金を支給した。

計 84 件 計 1,205,000 円

(6) その他

ア 文化財課刊行物

(ア) 報告書

書名	刊行年月日	刊行部数 (部)
八王子車人形調査報告書	令和 2 年 (2020 年) 3 月	300
八王子市文化財年報 第 13 号	令和 2 年 (2020 年) 3 月 31 日	250

(イ) 計画等

名称	策定年月	刊行部数 (部)
八王子市歴史文化基本構想	令和 2 年 (2020 年) 1 月	初版 1,000 増刷 500

イ 管理施設来場者数

施設名	開館日数 (日)	来館者数 (人)
国史跡八王子城跡ガイダンス施設	331	52,583
絹の道資料館	286	5,402

2 講座・講演

(1) 文化財見て歩き

ア 「親子で体験！ 戦国の八王子城」

親子で、八王子城の歴史と戦国時代の石垣について学び、ミニチュアを用いて石垣積み体験をして理解を深める。

- (ア) 日 時 令和元年（2019年）8月15日（木）10時00分～12時00分
- (イ) 講 師 文化財課学芸員（村山）
- (ウ) 参加者 22名
- (エ) 会 場 八王子城跡ガイダンス施設



イ 「千人同心ゆかりの地を歩く」

八王子の歴史を代表する八王子千人同心。千人町周辺のゆかりの地を歩き、江戸時代の八王子の歴史への理解を深める。

- (ア) 日 時 令和元年（2019年）11月30日（土）9時30分～12時00分
- (イ) 講 師 文化財課学芸員（石垣、村山）
- (ウ) 参加者 47名
- (エ) コース 宗格院→多賀神社→八王子千人同心屋敷跡碑→追分の道標
→興岳寺→信松院→八王子市郷土資料館



ウ 「片倉城跡とその周辺を歩く」

八王子市内にある重要な山城の一つであり、東京都史跡に指定されている片倉城跡とその周辺を歩き、八王子の歴史への理解を深める。

- (ア) 日 時 令和2年（2020年）3月14日（土）9時30分～12時00分（予定）
- (イ) 参加者 募集：72名
- (ウ) コース 来光寺跡→斟珠寺→片倉城跡
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

(2) 民俗芸能

ア 第17回八王子車人形と民俗芸能の公演

民俗芸能の普及と、貴重な文化財を市民全体で保存・継承する意識づくりの機会として東京都指定無形文化財「八王子車人形」・「説経節（説経浄瑠璃）」、八王子市指定無形民俗文化財「獅子舞」・「木遣」など、市内の民俗芸能の公演を毎年開催している。

- (ア) 主 管 八王子指定文化財芸能団体協議会
- (イ) 日 時 令和元年（2019年）11月10日（日）開場：13時00分開演：14時00分
- (ウ) 会 場 オリンパスホール八王子
- (エ) 舞台演目 一、小津獅子舞太刀保存会 獅子舞と太刀の演舞
二、八王子消防記念会 木遣、はしご乗り
三、八王子車人形西川古柳座・説経節の会
日高川入相花王「道行より渡し場の段」
- (オ) ロビー展示 石川町御嶽神社龍頭の舞保存会、今熊神社獅子舞保存会、小津獅子舞太刀保存会、説経節の会、田守神社獅子舞保存会、狭間獅子舞保存会、八王子車人形西川古柳座、八王子消防記念会、氷川神社獅子舞保存会、美山町鷹獅子舞保存会、四谷町龍頭の舞保存会
- (カ) 参加者 817人

イ 伝統文化ふれあい事業

伝統文化ふれあい事業実行委員会が主催している「伝統文化ふれあい事業」について、文化財課では以下の講座を担当した。

説経節体験・発表講座～三味線・語り～

東京都指定無形文化財の説経節（説経浄瑠璃）について、受講生に三味線や語りを経験してもらい、発表会を行うことによって、伝統芸能を身近に感じ、保存伝承についての理解を深めた。この事業の事務局は、八王子市学園都市ふれあい財団と共同で担当した。

(ア) 日時・会場

【ガイダンス・稽古】

令和元年（2019年）	12月15日（日）	9時30分～11時30分	いちょうホール練習室
	12月22日（日）	9時30分～11時30分	いちょうホール練習室
令和2年（2020年）	1月5日（日）	9時30分～11時30分	いちょうホール練習室
	1月12日（日）	9時30分～11時30分	いちょうホール練習室
	1月26日（日）	9時30分～11時30分	いちょうホール練習室
	2月2日（日）	9時30分～11時30分	生涯学習センター （クリエイトホール）
	2月9日（日）	9時30分～11時30分	生涯学習センター （クリエイトホール）
	2月12日（水）	18時30分～20時30分	いちょうホール練習室
	2月19日（水）	18時30分～20時30分	いちょうホール練習室

【リハーサル】

2月22日（土）13時00分～21時00分

学園都市センターイベントホール

【発表会】

2月23日（日）9時30分～16時00分（開演は13時00分）

学園都市センターイベントホール

（イ） 講 師 説経節の会（薩摩津賀太夫、京屋純、薩摩花太夫、薩摩桃太夫、京屋裕、薩摩宏太夫[敬称略]）

（ウ） 内 容 演目：日高川入相花王「道行より渡し場の段」

（エ） 受講者 一般 5名

（オ） 発表会鑑賞者 150名

（3） その他

ア 子ども手作り甲冑教室

前述のとおり

イ 八王子城跡まつり～こども武者大集合！～

国指定史跡八王子城跡では、平成29年度（2018年度）より、旧暦6月23日の落城の日を八王子のまちの新たな出発となった日の位置づけとして、イベントを行っている。令和元年度（2019年度）は、「八王子城跡まつり～こども武者大集合！～」と題し、地元町会や地域住民、地元中学校・高等学校、小田原市、寄居町、関係団体等多くの協力者と連携を行い、大規模なイベントを開催した。

（ア）開催日時 令和元年（2019年）6月23日（日）11時00分～15時00分

（イ）開催場所 八王子城跡御主殿跡、エントランス広場及びガイダンス施設

（ウ）参加人数 参加団体27団体349人 参加者3,695人 合計4,044人

（エ）概 要 武者演舞、吹奏楽演奏武者なりきり体験、乗馬体験、
砲術演武、ジオラマ展示、八王子城研究発表、

ウ 出前講座

八王子市では市民の生涯学習活動に対する支援を目的として出前講座が開かれている。文化財担当は講座「八王子の文化財」を担当し、市民（グループ・団体の学習会等）の利用に供している。令和元年度（2019年度）は1件の申し込みがあり、職員を派遣した。内容は以下のとおりである。

（ア）開催日 令和元年（2019年）7月26日（金）

（イ）講 師 文化財課学芸員（横川、石垣）

（ウ）参加者 10名

エ 歴史講座

八王子市教育委員会学習支援課共催・特定非営利活動法人八王子城三ッ鱗会協力で、八王子城をテーマとする講座を開催した。

- (ア) タイトル 「戦国時代の大石氏と北条（大石）氏照」
- (イ) 開催日 令和元年（2019年）12月7日（土）14時00分
- (ウ) 会 場 八王子市生涯学習センター（クリエイトホール）
- (エ) 講 師 峰岸 純夫（東京都立大学名誉教授）
- (オ) 参加者 163名

オ お城E X P O

「お城E X P O」は、近年の城郭ブームを受けて平成28年（2016年）から開催されているイベントである。昨年に引き続き、市内の八王子城跡と滝山城跡ほかのPRのため、観光課と協同で出展した。

- (ア) 開催日 令和元年（2019年）12月21日（土）から22日（日）
- (イ) 主 催 お城E X P O実行委員会
- (ウ) 会 場 パシフィコ横浜

3 ガイドボランティア

(1) 八王子城跡オフィシャルガイド

八王子城跡オフィシャルガイドは、国指定史跡である八王子城跡について、来訪者に城の概要や魅力などを知ってもらうことを目的に、現地で案内を行っている。平成 21 年（2009 年）4 月よりガイド活動を開始し、令和元年度（2019 年度）は活動 11 年目を迎える平成 30 年度（2018 年度）には 4 度目の新規募集を行い、その結果 5 名のガイドが加入し、平成 31 年（2019 年）4 月より活動を開始した。

ア 八王子城跡オフィシャルガイドの体制

令和元年度（2019 年度）は 29 名が在籍し、活動した。

イ 活動について

ガイドの活動は、八王子城跡を訪れた案内希望者に対して、八王子城の概要を説明し、八王子城ならではの見どころやその魅力を紹介している。基本的には、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）と悪天候時を除き、無料で案内している。

また、年に 1 度、ガイドとしての知識や技術の向上を目的として郷土資料館のガイドと合同で他市町村の史跡や博物館等を視察する合同研修を実施している。令和元年度（2019 年度）の実績は以下のとおり。

（ア）合同研修

令和元年度（2019 年度）の合同研修は群馬県太田市に赴き、国指定史跡金山城跡及び史跡金山城跡ガイダンス施設を見学した。

a 日 程 令和 2 年（2020 年）1 月 17 日（金）

b 見学地 国指定史跡金山城跡、史跡金山城跡ガイダンス施設（群馬県太田市）

c 参加者 合計 29 名（八王子城跡ガイド 21 名、郷土資料館ガイド 5 名、事務局 3 名）



(イ) 活動の実績

令和元年度（2019 年度）の活動の実績は下表のとおりである。

実施月	案内人数（人）			活動日数 （日）
	午前	午後	合計	
4 月	421	315	736	30
5 月	420	289	709	31
6 月	225	168	393	30
7 月	104	88	192	31
8 月	184	127	311	31
9 月	254	195	449	28
10 月	227	138	365	27
11 月	365	232	597	28
12 月	198	167	365	28
1 月	133	268	401	27
2 月	238	154	392	27
計	2,769	2,141	4,910	318

(ウ) その他の活動

令和元年（2019 年）6 月 23 日（日）開催の「八王子城跡まつり～こども武者大集合！～」共催。

(2) 絹の道資料館ガイドボランティア

郷土資料館ガイドボランティア有志の提案により、平成 25 年（2013 年）4 月から絹の道資料館でのガイド活動が開始された。現地常駐ではなく、事前に依頼を受けて解説を行う体制である。ガイドは郷土資料館ガイドボランティアの中から有志の方があたっており、令和元年度（2019 年度）は活動 7 年目となり、ガイド実績は下表のとおりである。

月	団体数	人数		
		大人	子ども	合計
4 月	0	0	0	0
5 月	2	46	0	46
6 月	1	0	25	25
7 月	0	0	0	0
8 月	0	0	0	0
9 月	4	0	207	207
10 月	2	0	52	52
11 月	0	0	0	0
12 月	0	0	0	0
1 月	0	0	0	0
2 月	0	0	0	0
3 月	0	0	0	0
合計	9	46	284	330

4 歴史文化基本構想・日本遺産

市内の文化財を、指定・未指定によらず、その周辺の環境を含めて総合的に保存・活用していくためのマスタープランとなる「八王子市歴史文化基本構想」を、令和2年（2020年）1月に策定した。また、歴史文化資源を面的に捉えて活用をし、文化財や伝統文化を通じた地域の活性化を図る「日本遺産」認定に向けた、本市の歴史文化を語るストーリーや事業計画の検討を進め、令和2年（2020年）1月に認定申請を行った。

歴史文化基本構想策定と日本遺産認定申請に向けた取組は、平成30年度（2018年度）から専門組織を立ち上げて進めた。この取組にあたっては、学識経験者や関係団体代表者の参加による「八王子市歴史遺産活用検討会」（以下、「検討会」という。）を設置し、多角的な意見聴取を行った。検討会は平成30年度（2018年度）に4回、令和元年度（2019年度）に4回開催した。歴史文化基本構想については、令和元年（2019年）10月にパブリックコメントを実施し、広く市民から意見を募った。

(1) 検討会参加者一覧（所属等は参加確定時のもの）

氏名	所属等	専門分野等
相原 悦夫	八王子市文化財保護審議会 会長	民俗学
加藤 哲	八王子市文化財保護審議会 副会長	歴史学
紺野 英二	立正大学 特任講師	考古学
橋本 京子	多摩美術大学 名誉教授	美術・工芸 テキスタイルデザイン
富永 祥子	工学院大学建築学部 教授 八王子市景観アドバイザー	建築史・建築・まちづくり
中庭 光彦	多摩大学 経営情報学部教授	地域政策・観光まちづくり
内野 秀重	NP0 法人エヌピーオー・フュージョン長池 理事	自然・環境
最上 健一郎	八王子商工会議所 業務部長	産業
田口 秀夫	八王子観光コンベンション協会 事務局長	観光
尾寄 敏夫	八王子市町会自治会連合会 常任理事	町会・自治会
米倉 楽	八王子市学園都市文化ふれあい財団 芸術文化担当部長兼芸術文化振興課長	文化・芸術・学園都市
進藤 丕	NP0 法人八王子生涯学習コーディネーター会 理事	市民団体
諸角 史人	京王観光株式会社 団体旅行営業部副部長	交通・観光
三島 雄介	多摩信用金庫 調査役	金融
原 眞麻子	東京都教育庁教育支援部管理課 課長代理(文化財調査担当)	オブザーバー
宮前 功	東京都教育庁教育支援部管理課	オブザーバー

(2) 令和元年度（2019 年度）開催実績

第 5 回

日 時 令和元年（2019 年）5 月 27 日（月）18 時 30 分～20 時 30 分
検討事項等 歴史文化基本構想素案について
日本遺産認定ストーリー案について

第 6 回

日 時 令和元年（2019 年）7 月 22 日（月）18 時 30 分～20 時 30 分
検討事項等 歴史文化基本構想素案について
日本遺産認定ストーリー案について

第 7 回

日 時 令和元年（2019 年）9 月 18 日（水）13 時 00 分～17 時 30 分
検討事項等 歴史文化資源の活用について【視察】
※高尾山周辺の歴史文化資源（八王子城跡、小仏関跡、高尾駒木野庭園）を「活用」の視点で
視察

第 8 回

日 時 令和元年（2019 年）11 月 11 日（月）18 時 30 分～20 時 30 分
検討事項等 歴史文化基本構想（素案の修正、パブリックコメント実施結果）について
日本遺産認定申請について

(3) 「八王子市歴史文化基本構想（素案）」に対する意見募集（パブリックコメント）実績

ア 実施概要

- | | |
|----------|---------------------------------------|
| （ア）募集期間 | 令和元年（2019 年）10 月 1 日（火）～10 月 31 日（木） |
| （イ）実施対象 | 市内在住・在勤・在学者、又は市内に事務所・事業所を有する法人や
団体 |
| （ウ）意見の件数 | 33 件（16 名） |

イ 市民からの意見（抜粋）

- ・中央と違う価値観が必要。動く文化である。概要冒頭の「八王子の歴史文化」でいう
地理的立地と産業を、文化「桑都」として捉える必要がある。
- ・地域に寄り添った「八王子市史」の説明、解説の機会があれば良いと思う。地域文化の紹介
コーナーや、縄文遺跡出土品の展示場所ができれば良いと思う。また、防災知識の意味でも
地域の地盤、地形の成り立ちなどの説明・紹介もあるとよいと思う。
- ・歴史文化基本構想に、八王子の昔話や語り部の効用を取り上げることによって、周知してほ
しい。

(4) 日本遺産認定申請

ア ストーリーの概要

八王子は、養蚕や織物が盛んだったことから「桑都(そうと)」と称されました。甲州道中最大の宿場町となり、さまざまな文化を育みながら発展してきたまちの礎は、戦国時代末期に関東の覇権を握った北条氏の名将・北条氏照(ほうじょううじてる)が、城下町を築いたことに遡ります。

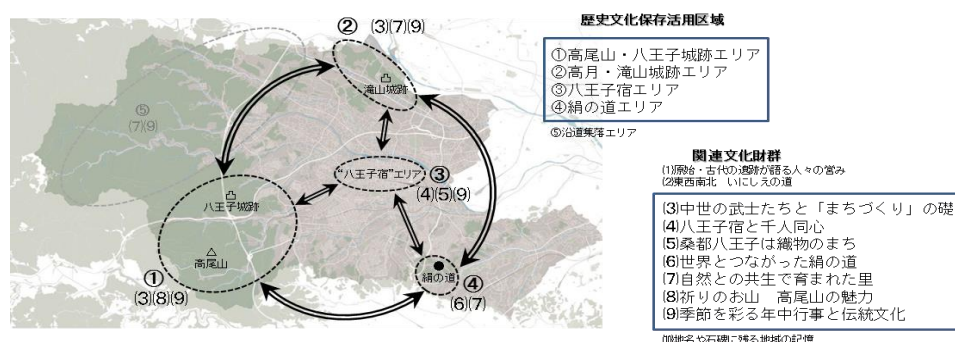
桑都の発展を支えた養蚕農家や絹商人は、氏照が武運を祈願し、いにしえより人々が霊山として崇めてきた高尾山を信仰し、大切に護ってきました。

高尾山では、今も人々の祈りとともに、江戸時代に花開いた桑都の伝統文化が連綿と受け継がれています。

養蚕や絹織物は、日本全国各地で盛んに行われてきた産業であるが、その中で唯一、八王子は古くから「桑都」と呼ばれてきた。一般には、「桑都」という言葉そのものが認識されたのは江戸時代以降と考えられているが、このストーリーでは、絹産業を基盤として発展して「桑都」と称された八王子の歴史を、北条氏照が滝山城・八王子城の城主としてこの地を治めた戦国時代末期から現在、そして未来へと、一気通貫に語るため、時代を超えて「桑都・八王子」と表現した。

『高尾山小史』(高尾山薬王院)や『高尾山薬王院』(相原悦夫)をはじめとする刊行物や資料、関係者への聞き取り調査などにより、高尾山の長い歴史を紐解き、数多の史実や伝承の中から、高尾山と桑都・八王子の人々とのつながりに焦点をあてて、ストーリーをまとめた。

イ 日本遺産を通じた地域活性化計画における将来像(ビジョン)



日本遺産ストーリーがつなぐ歴史文化保存活用区域と関連文化財群

歴史文化基本構想に掲げた歴史文化保存活用区域や関連文化財群を、日本遺産認定ストーリーがつなぎ、日本遺産を通じて八王子の歴史文化資源の魅力に対する認知度を高め、興味関心を喚起して、より多くの人々に訪れてもらうことを目指す。

八王子の未来⇒①市民の郷土愛を育む

②関係人口を増やす

③地域産業や経済を活性化

5 埋蔵文化財の発掘調査

(1) 調査概要

ア 確認調査

開発事業者から提出された文化財保護法に基づく埋蔵文化財発掘の届出・通知にともなって、教育委員会では埋蔵文化財の確認調査を行っている。

令和元年度（2019 年度）は、周知の埋蔵文化財包蔵地に該当する開発面積が 2,000 m²未満の開発行為について、国庫補助を得て民間調査機関に委託し確認調査を実施した。当該の確認調査は 6 件あり、調査日数は 6 日、調査面積は計 88 m²あった。

上記以外の確認調査については、民間開発事業において、事業主に重機等の提供をいただき、教育委員会が直接行ったものが 2 件あり、調査日数は 2 日、調査面積は計 88 m²であった。また、規模の大きい民間開発事業においては、教育委員会指導のもと民間調査機関が確認調査を行っているが、今年度の当該確認調査は 0 件であった。

公共事業における確認調査は、民間開発事業と同様に、教育委員会指導のもと民間調査機関が行うものと、事業主に重機等の提供をいただき教育委員会で直接行うものがあるが、今年度は前者による調査が 3 件あり、調査日数が計 23 日、調査面積は計 426.6 m²、後者によるものが 2 件あり、調査日数が 9 日、調査面積は計 360 m²であった。

(ア) 市調査（国庫補助）

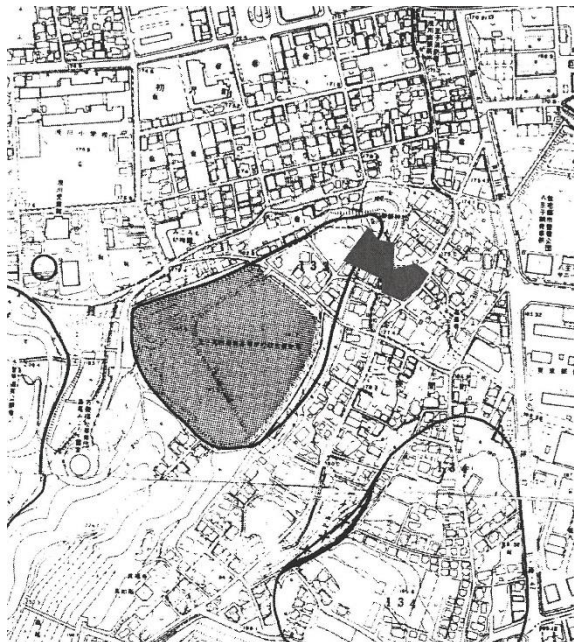
a 八王子市No.133 遺跡（狭間（峰開戸）遺跡・狭間町 1862 番 2 外）

調査面積…8 m²

事業目的…宅地造成

調査期間…令和元年（2019 年）7 月 11 日

調査概要…調査対象地は市西部、小比企丘陵斜面地に位置する。宅地造成工事に伴う事前調査として、遺跡に該当している部分に対して 2×4 m の試掘坑 1 か所を設定した。当該地は耕作による削平を受けており、現地表から 20 cm でローム層に達する状況であった。遺構や遺物は出土しなかった。

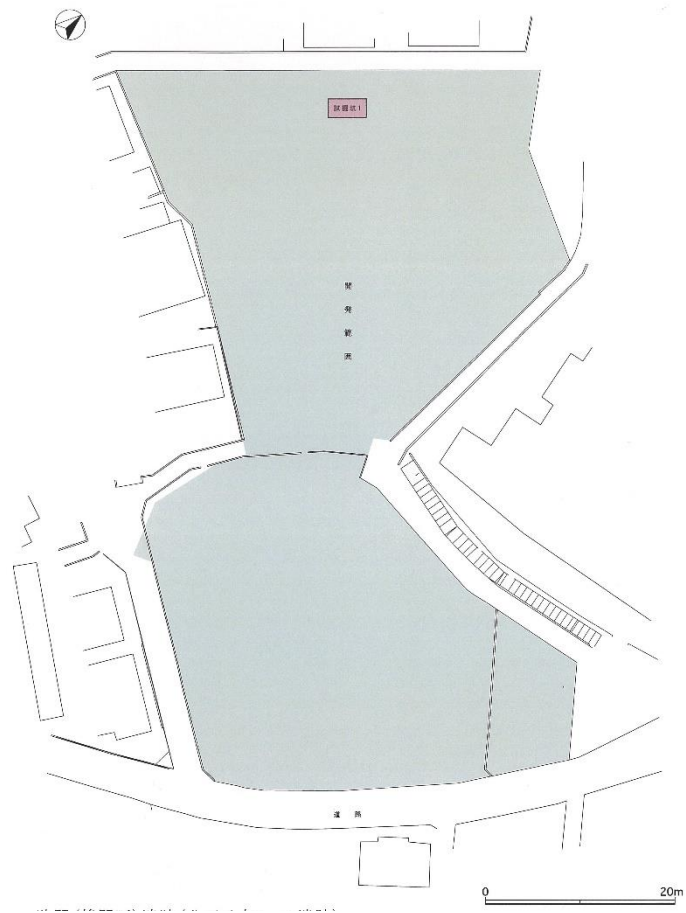




調査地全景



試掘坑全景



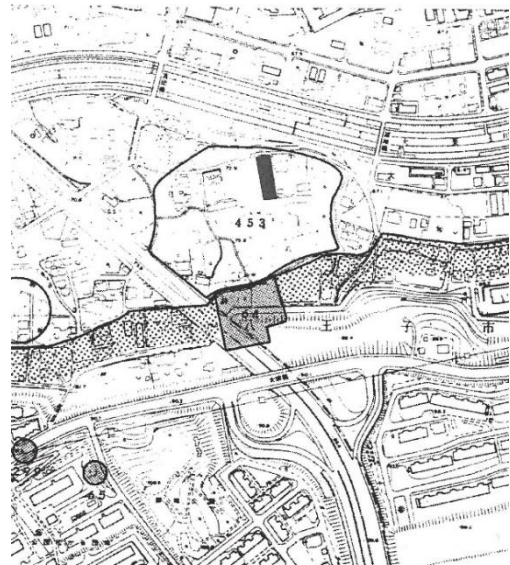
b 八王子市No.453 遺跡（多摩ニュータウンNo.64 遺跡・大塚 1378 番 9 外）

調査面積…8 m²

事業目的…宅地造成

調査期間…令和元年（2019 年）7 月 25 日

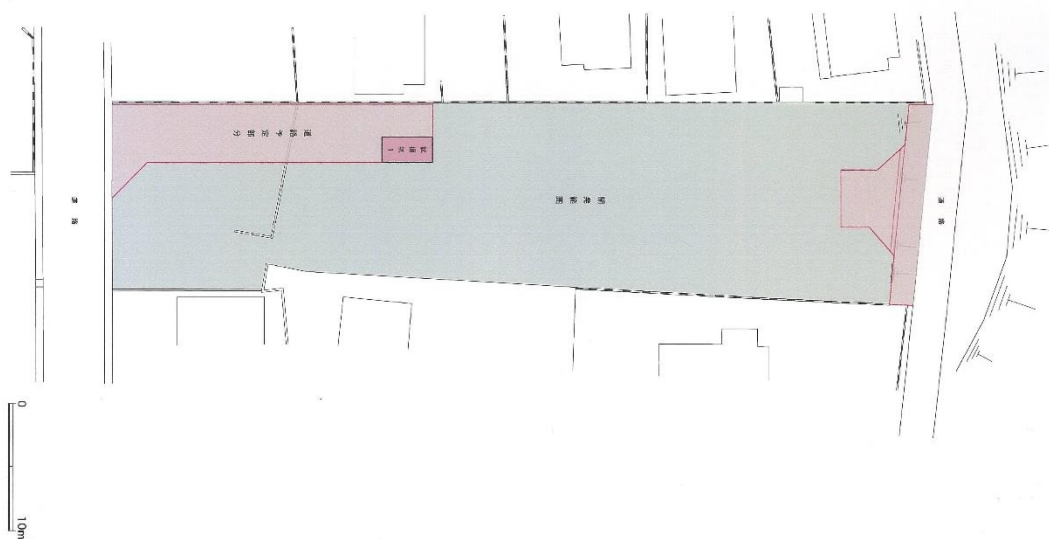
調査概要…調査対象地は市南東部、多摩丘陵裾部に位置する。宅地造成工事に伴う事前調査として、道路予定部分に対して2×4 mの試掘坑1か所を設定した。当該地は表土の堆積が厚く現地表から120 cmの堆積であった。またローム層は見られず、表土下にはロームブロックを含んだ暗褐色の丘陵上位から流れ込んだ堆積土であった。遺構や遺物は出土しなかった。



調査地全景



試掘坑全景



c 八王子市No.734 遺跡（石川天野遺跡・大谷町 183 番外）

調査面積…8 m²

事業目的…駐車場造成

調査期間…令和元年（2019 年）9 月 12 日

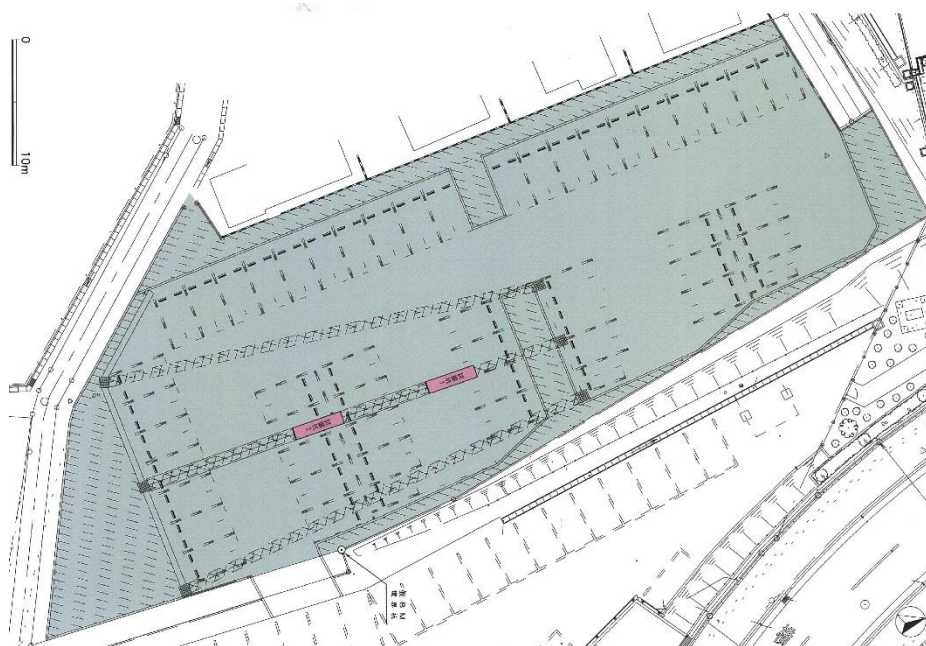
調査概要…調査対象地は市北東部、加住南丘陵上に位置する。駐車場造成工事に伴う事前調査として、浸透トレンチ予定部分に対して、1×4 mの試掘坑 2 か所を設定した。当該地の土層の堆積は比較的良好であったが、遺構の検出は見られなかった。遺物は縄文時代中期と思われる土器が出土した。



調査地全景



試掘坑全景



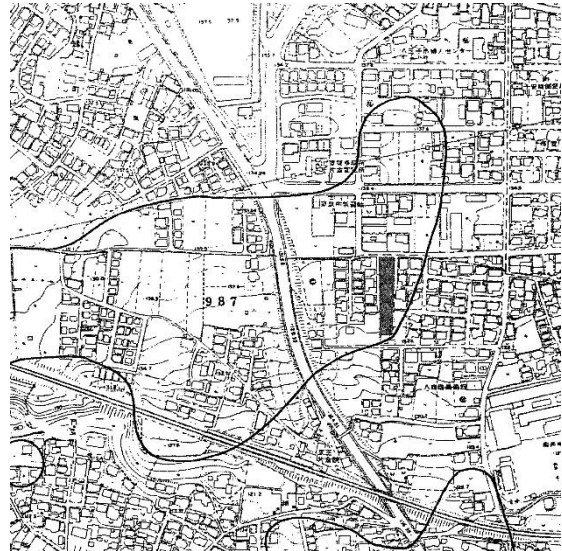
d 八王子市No.987 遺跡（片倉町 505 番）

調査面積…16 m²

事業目的…駐車場造成

調査期間…令和元年（2019 年）10 月 4 日

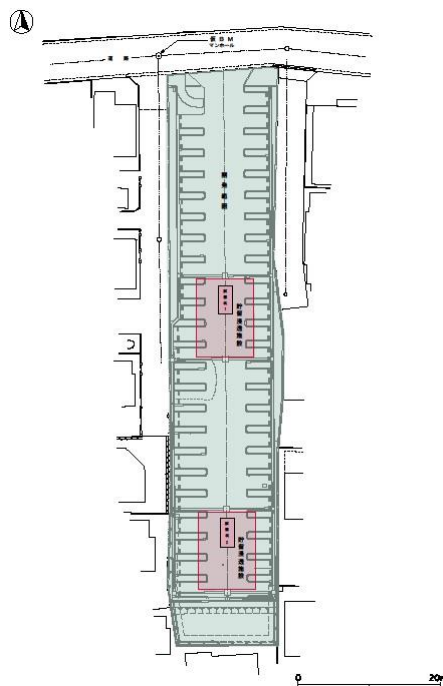
調査概要…調査対象地は市中央部、小比企丘陵上に位置する。駐車造成工事に伴う事前調査として、浸透施設予定部分に対して 2×4 m の試掘坑 2 か所を設定した。当該地の土層の堆積は比較的良好であったが、遺構・遺物の検出はされなかった。



調査地全景



試掘坑全景



e 国指定史跡八王子城跡（元八王子町三丁目 2570 番 1 外）

調査面積…24 m²

事業目的…個人住宅建築

調査期間…令和元年（2019 年）12 月 10 日

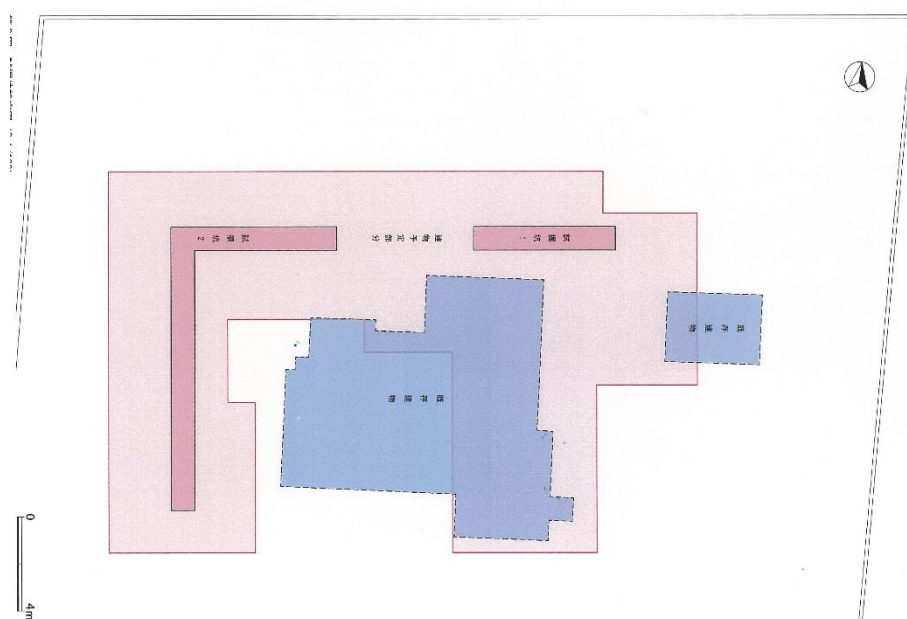
調査概要…調査対象地は市西部、関東山地裾部に位置する。個人住宅建築工事に伴う事前調査として、建物予定部分に対して 1×6 m の試掘坑 1 か所、東西 7m、南北 12m、幅 1m の試掘坑 1 か所を設定した。当該地はローム層の堆積はみられず、礫と砂粒を含んだオリーブ褐色土が堆積していた。遺構は検出されなかったものの、中世以降と思われる土師質土器片が出土した。



調査地全景



試掘坑近景



f 八王子市No.519 遺跡（檜原町 524 番 1）

調査面積…24 m²

事業目的…宅地造成

調査期間…令和 2 年（2020 年）2 月 18 日

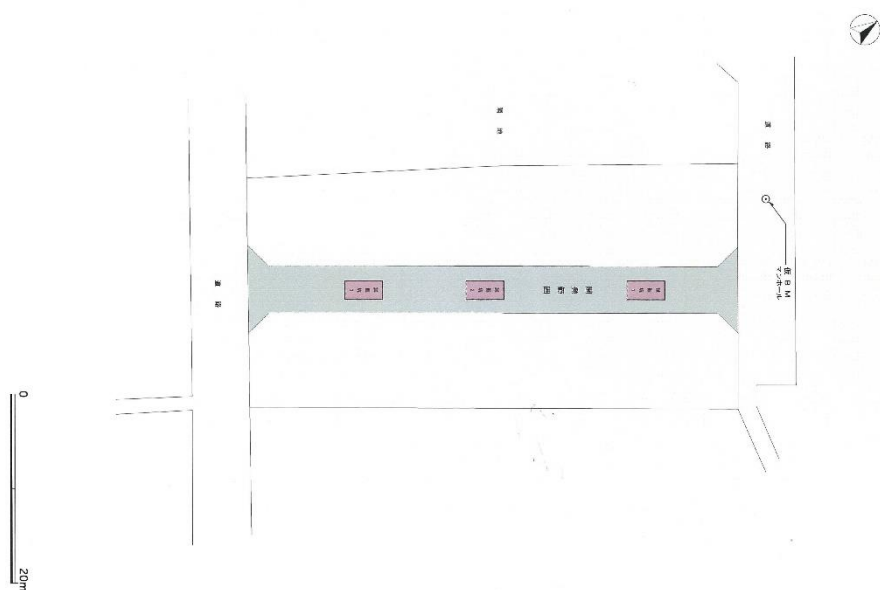
調査概要…調査対象地は市北西部、川口川によって形成された河岸段丘上に位置する。宅地造成工事に伴う事前調査として、道路予定部分に対して 2×4 m の試掘坑 3 か所を設定した。土層の堆積状況は比較的良好であったが、遺構・遺物は検出されなかった。



調査地全景



試掘坑全景



(イ) 市調査（国庫補助以外）

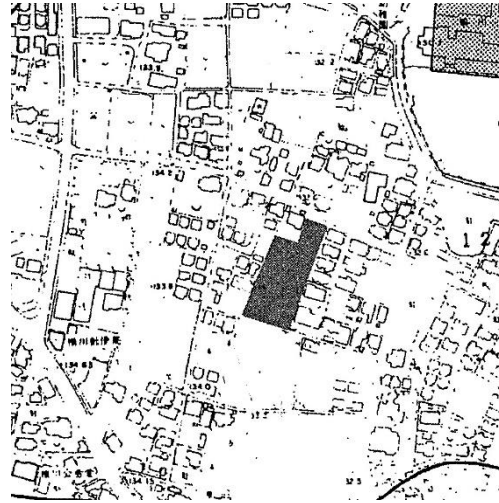
a 八王子市No.120 遺跡（弁天池・弁天池北・横川町 446 番外）

調査面積…32 m²

事業目的…宅地造成

調査期間…平成 31 年（2019 年）4 月 8 日

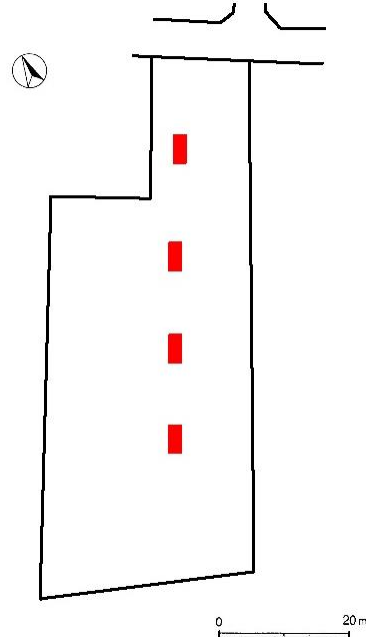
調査概要…調査対象地は市中央部西より、南浅川によって形成された沖積地上に位置する。宅地造成工事に伴う事前調査として、道路予定部分に対して 2×4 m の試掘坑 4 か所を設定した。ローム層の堆積は確認されず、河川の氾濫によって堆積した礫を含む暗褐色土層が堆積していた。遺構・遺物は検出されなかった。



調査地全景



試掘坑全景



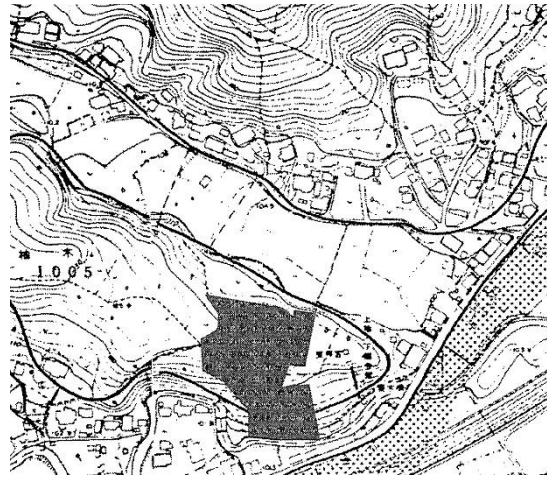
b 八王子市No.1005 遺跡（上柚木字十七号 1784 番 1 外）

調査面積…56 m²

事業目的…宅地造成

調査期間…平成 31 年（2019 年）4 月 18 日

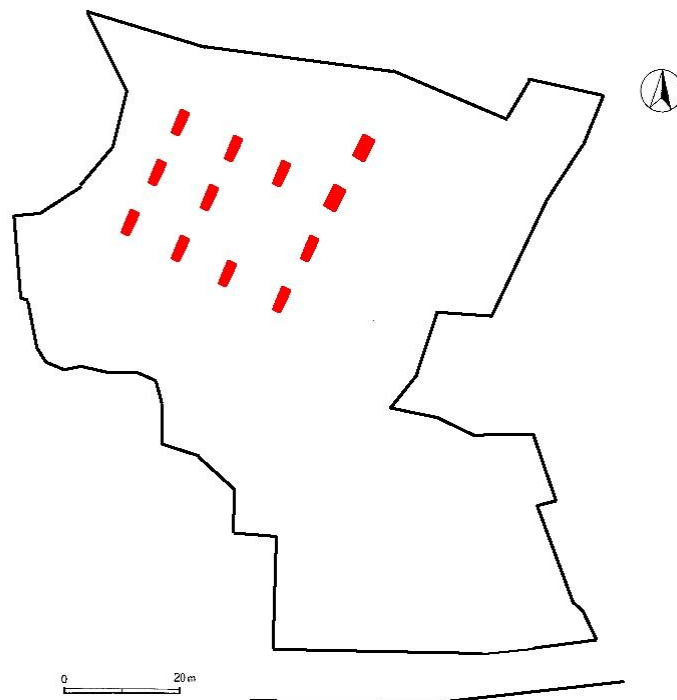
調査概要…調査対象地は市南東部、多摩丘陵裾部に位置する。宅地造成工事に伴う事前調査として、道路予定及び切土部分に対して 2×4 m の試掘坑 2 か所、1×4 m の試掘坑 10 か所を設定した。土層の堆積状況は、北側の一部以外はローム層まで削平を受けていた。遺構・遺物は検出されなかった。



調査地全景



試掘坑全景



(ウ) 市調査（公共事業）

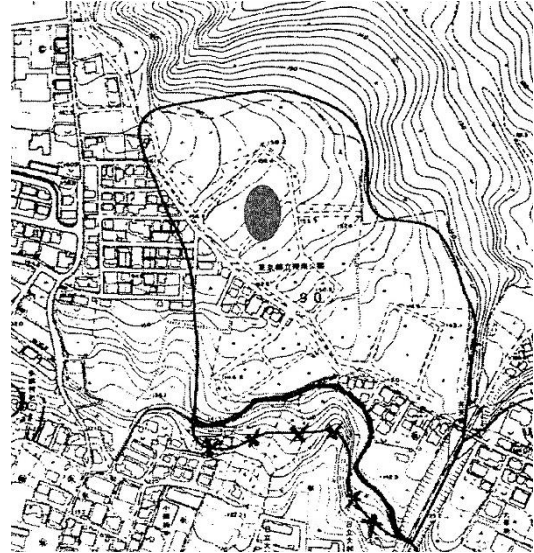
a 八王子市No.90 遺跡（弁天橋西遺跡・暁町二丁目 386 番 1 外）

調査面積…8 m²

事業目的…公園便所建築

調査期間…令和元年（2019 年）5 月 20 日

調査概要…調査対象地は市中央部北より、加住南丘陵上に位置する。公園便所建築に伴う事前調査として、建物予定部分に2×4 mの試掘坑1か所を設定した。土層の堆積状況は比較的良好であったが、遺構・遺物は検出されなかった。



調査地全景



試掘坑全景

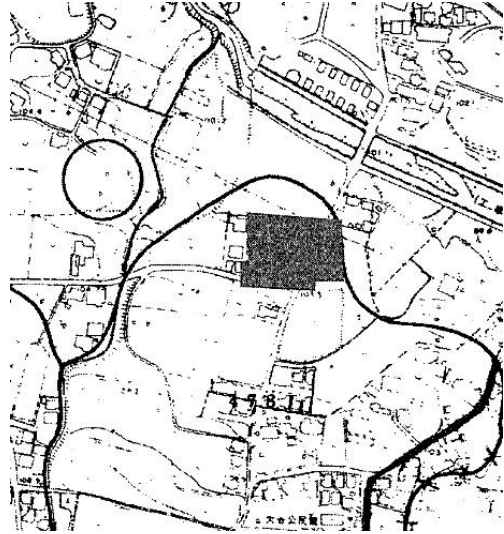
b 八王子市No.478 遺跡（仲田遺跡・宇津木町地内）

調査面積…202.6 m²

事業目的…区画整理事業

調査期間…令和元年（2019 年）5 月 20 日～30 日

調査概要…調査対象地は市北東部、加住南丘陵裾部に位置する。区画整理事業に伴う事前調査として 2×4m の試掘坑 25 か所を設定し、遺構を確認した 1 か所に関しては 1×2.6 m 拡張を行った。土層の堆積状況はやや不良で大半がローム漸移層まで削平されている状況であった。遺構は中世と思われる竪穴状遺構、時期不明の土坑やピットなどが検出された。遺物は縄文土器、須恵器などが出土した。



調査地全景



試掘坑全景

c 八王子市No.478 遺跡（仲田遺跡・宇津木町地内）

調査面積…64 m²

事業目的…区画整理事業

調査期間…令和元年（2019 年）9 月 25 日～27 日

調査概要…調査対象地は市北東部、加住南丘陵裾部に位置する。区画整理事業に伴う事前調査として 2×4 m の試掘坑 8 か所を設定した。土層の堆積状況は不良で大半がローム漸移層まで削平されている状況であった。遺構は古代から中世と思われるピットが検出された。遺物は出土しなかった。



調査地全景



試掘坑全景

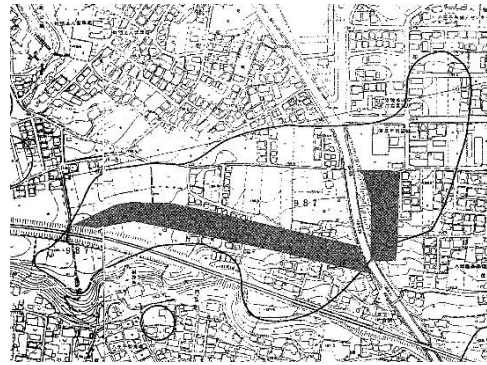
d 八王子市No.177・987 遺跡（北野町・片倉町地内）

調査面積…352 m²

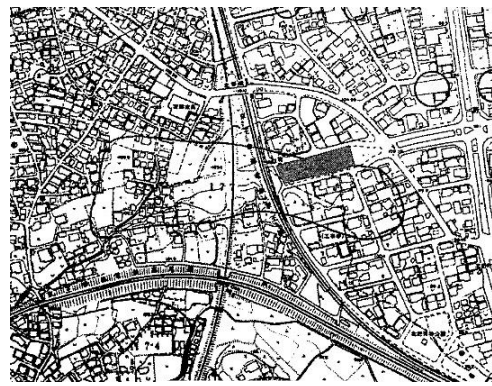
事業目的…道路築造

調査期間…令和2年（2020年）1月7日～30日

調査概要…調査対象地は市中央部南側、八王子市
No.987 遺跡は小比企丘陵上、No.177 遺跡は小比企丘陵裾部に位置する。道路築造に伴う事前調査として2×2 mの試掘坑 88 ヶ所を設定した。土層の堆積状況は不良で、宅地造成などにより攪乱を受けている状態であった。土坑と思われる遺構を確認した。遺物は縄文土器が出土した。



No. 177 遺跡



No. 987 遺跡



調査地全景



試掘坑全景

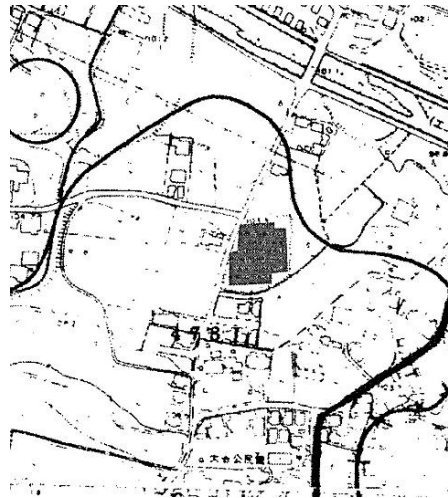
e 八王子市No.478 遺跡（仲田遺跡・宇津木町地内）

調査面積…160 m²

事業目的…区画整理事業

調査期間…令和2年（2020年）1月16日～24日

調査概要…調査対象地は市北東部、加住南丘陵裾部に位置する。区画整理事業に伴う事前調査として2×4 mの試掘坑20か所を設定した。土層の堆積状況は全体にわたり攪乱されており、土層は不良であった。遺構は古代以降のピット・土坑が検出された。遺物は近世以降の時期が出土した。



調査地全景



試掘坑全景

イ 立会い調査

令和元年度（2019年度）における立会い調査は民間開発によるものは108件、公共事業によるものは7件であった。本年度の遺構・遺物の検出は民間開発、公共事業とも認められなかった。

ウ 本発掘調査

令和元年度（2019年度）における八王子市の本発掘調査は2件であった。本年度の本発掘調査は、国庫補助を受けて八王子市教育委員会が調査主体となり民間調査機関が行ったものと、八王子市教育委員会指導のもと民間調査機関が行った調査はなかった。2件とも、東京都埋蔵文化財センターが調査を行ったものである。

(ア) 東京都埋蔵文化財センターによる本発掘調査

a 日南田遺跡（八王子市No.145 遺跡・寺田町地内）

開発者…国土交通省

発掘担当者…小坂井孝修・寺西朗平・尾田識好・

中西充・太田千晶・岩橋洋一・橋本望

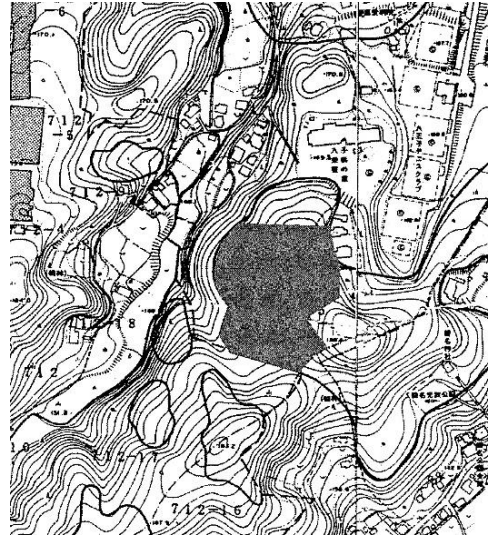
調査面積…25,390 m²

事業目的…道路築造

調査期間…平成 31 年（2019 年）4 月 1 日

～令和 2 年（2019 年）3 月 31 日

調査概要…日南田遺跡は市南部、多摩丘陵上に位置している。北側に浅川支流の湯殿川が流れている。今回の調査では縄文時代中、陥穴、遺物集中箇所、平安時代の住居跡などが検出されている。



調査地全景



縄文時代の陥穴

b 塚場遺跡（八王子市No.110 遺跡・石川町地内）

開発者…東京都南多摩西部建設事務所

発掘担当者…塚田清啓

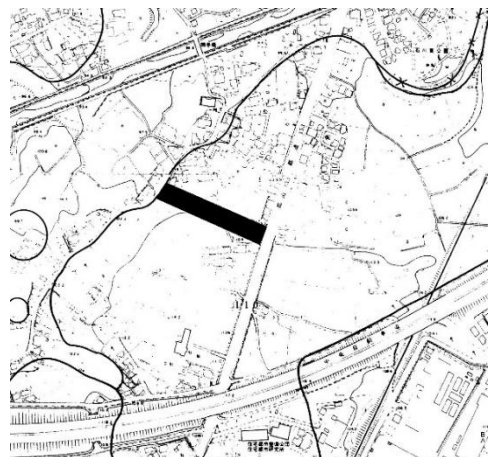
調査面積…2,961 m²

事業目的…道路築造

調査期間…平成 31 年（2019 年）4 月 1 日

～令和元年（2019 年）7 月 31 日

調査概要…塚場遺跡は市北東部、日野台地上に位置し、南側には多摩川支流の谷地川が流れている。昨年度から調査が行われており、前年度は縄文時代の陥穴、近世の墓壙などが検出されている。今年度は旧石器時代の石器集中部、縄文時代の住居



跡、平安時代の住居跡が確認された。谷地川下流域では、石川天野遺跡、下耕地遺跡、西野遺跡など旧石器時代の遺跡を確認することができる。今回、旧石器時代の石器集中部を検出しており、谷地川下流域での旧石器時代を考える上で貴重な資料となった。



調査地全景



古代の住居跡

(2) 報告書の刊行

八王子市教育委員会「八王子市文化財年報第 13 号 平成 30 年度」(令和 2 年(2020 年)3 月 31 日)

(3) 遺物受入数量

ア 本発掘調査

なし

イ 確認調査

遺跡名	所在地	遺物の内容	数量
石川天野遺跡 (八王子市No. 734)	大谷町183番地	縄文時代の土器	1
合計			1

数量はテン箱数。1 箱は原則40×60×15cmのテン箱で換算

(4) 一覧

ア 確認調査一覧

(ア) 市調査（国庫補助）

No.	所在地または住所	遺跡No.及び遺跡名		用途	調査年月日	日数	調査面積		遺構・遺物	
		No.	遺跡名						遺構	遺物
1	狭間町 1862 番 2 外	133	狭 間 (峰開戸)	宅 地 造成	20190711	1	8	m ²	なし	なし
2	大塚 1378 番 9 外	453	多摩ニ ュータ ウンNo. 64	宅 地 造成	20190725	1	8	m ²	なし	なし
3	大谷町 183 番地	734	石川天 野	駐 車 場 造 成	20190912	1	8	m ²	なし	縄文土 器片
4	片倉町 505 番	987	—	駐 車 場 造 成	20191004	1	16	m ²	なし	なし
5	元八王子町三丁目	国 史 跡	八王子 城跡	個 人 住宅	20191210	1	24	m ²	なし	かわら け
6	檜原町 524 番 1	519	—	宅 地 造成	20200218	1	24	m ²	なし	なし

(イ) 市調査（国庫補助以外）

No.	所在地または住所	遺跡No.及び遺跡名		用途	調査年月日	日数	調査面積		遺構・遺物	
		No.	遺 跡 名						遺構	遺物
1	横川町 446 番 外	120	弁 天 池・弁 天 池 北	宅 地 造成	20190408	1	32	m ²	なし	なし
2	上柚木字十七号 1784 番 1 の一部外	1005	—	宅 地 造成	20190418	1	56	m ²	なし	なし

(ウ) 公共事業

No.	所在地または住所	遺跡No.及び遺跡名		用途	調査年月日	日数	調査面積		遺構・遺物	
		No.	遺跡名						遺構	遺物
1	暁町二丁目 386番1外	90	弁天橋西	公園 便所	20190520	1	8	m ²	なし	なし
2	宇津木町内	478	仲田	区画 整理	20190520 ～ 20190530	11	202.6	m ²	竪穴状遺 構・土坑・ ピット	縄文土 器・須恵 器・石器
3	宇津木町内	478	仲田	区画 整理	20190925 ～ 20190927	3	64	m ²	ピット・ 溝状遺構	なし
4	片倉町・北野 町地内	177 987	—	道路	20200107 ～ 20200130	8	352	m ²	土坑・ピ ット	なし
5	宇津木町内	478	仲田	区画 整理	20200116 ～ 20200124	9	160	m ²	土坑・ピ ット	なし

イ 立会い一覧

(ア) 民間開発

No.	所在地または住所	遺跡No.及び遺跡名		用途	調査年月日	日数	立会 い内 容	遺構・遺物	
		No.	遺跡名					遺構	遺物
1	小宮町 913 番 11 外	79	小宮 町・栗 ノ須	分譲住 宅	20190401	1	基礎 立会	なし	なし
2	打越町 763 番 241	992	—	防災工 事	20190402	1	工事 立会	なし	なし
3	大谷町 506	478	仲田	電柱	20190404	1	工事 立会	なし	なし
4	檜原町 877 番 3	519	—	電柱	20190409	1	工事 立会	なし	なし

No.	所在地または住所	遺跡No.及び遺跡名		用途	調査年月日	日数	立会 い内 容	遺構・遺物	
		No.	遺 跡 名					遺構	遺物
5	元八王子町二丁目 1334 番 1、 1338 番 4	116	池 の 下	個人住 宅	20190412	1	基礎 立会	なし	なし
6	宮下町 349 番 1	56	宮下	宅地造 成	20190416	1	工事 立会	なし	なし
7	台町二丁目 85 番 35	129	平塚	個人住 宅	20190423	1	工事 立会	なし	なし
8	川口町 1787 番 10	469	—	分譲住 宅	20190426	1	基礎 立会	なし	なし
9	犬目町 217 番 10 外	34	犬 目 甲 の 原	個人住 宅	20190509	1	基礎 立会	なし	なし
10	小比企町 554 番 5、17	985	—	分譲住 宅	20190510	1	基礎 立会	なし	なし
11	中野町 2696 番 4	34	犬 目 甲 の 原	個人住 宅	20190510	1	基礎 立会	なし	なし
12	小比企町 536 番 29	985	—	個人住 宅	20190515	1	基礎 立会	なし	なし
13	石川町 1223 番 地	110	塚場	ガス	20190516	1	工事 立会	なし	なし
14	宇津木町 623 番 2 外	508	宇 津 木 地 区No.8	個人住 宅	20190517	1	基礎 立会	なし	なし
15	犬目町 226 番 7 外	34	犬 目 甲 の 原	分譲住 宅	20190520	1	基礎 立会	なし	なし
16	石川町 2574 番 地先	110	塚場	電柱	20190524	1	工事 立会	なし	なし
17	元八王子町三 丁目 2266 番外	118	—	ガス	20190605	1	工事 立会	なし	なし
18	中野町 2499 番 3	83	中 野 甲 の 原	個人住 宅	20190614	1	基礎 立会	なし	なし
19	川口町 1248 番 3 外	27	調 井 台	分譲住 宅	20190618	1	工事 立会	なし	なし

No.	所在地または住所	遺跡No.及び遺跡名		用途	調査年月日	日数	立会い内容	遺構・遺物	
		No.	遺跡名					遺構	遺物
20	横川町 201 番 5、29	120	弁 天 池・弁 天 池 北	個人住 宅	20190618	1	基礎 立会	なし	なし
21	大楽寺町462番 1	80	叶谷	個人住 宅	20190618	1	基礎 立会	なし	なし
22	大和田町七丁 目 2210 番 12	91	弁 天 橋	個人住 宅	20190621	1	基礎 立会	なし	なし
23	元八王子町二 丁目 1905 番 1	118	—	宅地造 成	20190625	1	工事 立会	なし	なし
24	西寺方町252番 6	46	小 田 野	個人住 宅	20190625	1	基礎 立会	なし	なし
25	川口町 3876 番 7	469	—	個人住 宅	20190626	1	基礎 立会	なし	なし
26	中野町 2506 番 1 の一部外	83	中 野 甲 の 原	共同住 宅	20190627	1	基礎 立会	なし	なし
27	子安町 2-15-4	732	子 安 三 丁 目	ガス	20190701	1	工事 立会	なし	なし
28	檜原町 722 番 5	469	—	個人住 宅	20190701	1	基礎 立会	なし	なし
29	散田町二丁目 1432 番 4、5	130	御 所 水	個人住 宅	20190708	1	基礎 立会	なし	なし
30	大和田町二丁 目 9 番 5	982	—	分譲住 宅	20190709	1	基礎 立会	なし	なし
31	元八王子町二 丁目 1031 番 3	117	鍛 冶 屋敷	個人住 宅	20190718	1	基礎 立会	なし	なし
32	東中野 1849-3	1007	—	分譲住 宅	20190719	1	基礎 立会	なし	なし
33	東中野 45 番地	442	天 野 谷 戸 地 区 No.44	ガス	20190719	1	工事 立会	なし	なし
34	散田町三丁目 739 番 1 ほか	981	—	共同住 宅	20190723	1	基礎 立会	なし	なし
35	中野上町三丁 目 3277 番 9	88	西 中 野	分譲住 宅	20190805	1	基礎 立会	なし	なし

No.	所在地または住所	遺跡No.及び遺跡名		用途	調査年月日	日数	立会内容	遺構・遺物	
		No.	遺跡名					遺構	遺物
36	中山字四号 515 番 3	183	—	宅地造成	20190805	1	工事立会	なし	なし
37	犬目町 226 番 6	34	犬 目 甲 の 原	集合住宅	20190805	1	基礎立会	なし	なし
38	上 柚 木 字 十 七 号 1732 番 1	299	—	宅地造成	20190819	1	擁壁立会	なし	なし
39	元八王子町一丁目 583 番 1 の 一部外	114	月 夜 峰	個人住宅	20190820	1	基礎立会	なし	なし
40	川口町 1547 番 2	469	—	個人住宅	20190829	1	基礎立会	なし	なし
41	大塚 799 番 2 外	779	御 嶽 山	事務所	20190902	1	基礎立会	なし	なし
42	北野町 69 番 1 外	174	—	個人住宅	20190904	1	基礎立会	なし	なし
43	犬目町 202 番	34	犬 目 甲 の 原	ガス	20190910	1	工事立会	なし	なし
44	片倉町 502 番 1	987	—	個人住宅	20190913	1	基礎立会	なし	なし
45	中野町 2523 番 地 25	83	中 野 甲 の 原	個人住宅	2019020	1	基礎立会	なし	なし
46	中野町 2149 番 7	83	中 野 甲 の 原	分譲住宅	20190924	1	基礎立会	なし	なし
47	犬目町 326 番 10	34	犬 目 甲 の 原	分譲住宅	20190927	1	基礎立会	なし	なし
48	子安町三丁目 585 番 10	987	—	分譲住宅	20191001	1	基礎立会	なし	なし
49	元八王子町三丁目 1905 番 1	118	—	個人住宅	20191007	1	基礎立会	なし	なし
50	大谷町 217 番 2 の一部	101	北 大 谷・春 日 台	個人住宅	20191007	1	基礎立会	なし	なし

No.	所在地または住所	遺跡No.及び遺跡名		用途	調査年月日	日数	立会内容	遺構・遺物	
		No.	遺跡名					遺構	遺物
51	子安町二丁目599番38外	174	—	個人住宅	20191007	1	基礎立会	なし	なし
52	横川町 702-35	120	弁天池・弁天池北	分譲住宅	20191015	1	基礎立会	なし	なし
53	大谷町 702 番 35	1032	—	集合住宅	20191017	1	工事立会	なし	なし
54	長房町 1465 番	124	中郷	ガス	20191024	1	工事立会	なし	なし
55	大塚 1387 番 3 の一部	453	多摩ニュータウン No.64	分譲住宅	20191024	1	基礎立会	なし	なし
56	中野山王一丁目 1540 番の一部	93	山王林	個人住宅	20191028	1	基礎立会	なし	なし
57	上川町 2394 番 4	18	十内上原	分譲住宅	20191105	1	基礎立会	なし	なし
58	石川町 3243 番 10 外	480	石川	分譲住宅	20191106	1	基礎立会	なし	なし
59	上柚木字二十五号 2251 番 9	299	—	個人住宅	20191107	1	基礎立会	なし	なし
60	大谷町 220 番 1	101	北大谷・春日台	個人住宅	20191107	1	基礎立会	なし	なし
61	川口町 1570-1、3875 の一部	469	—	倉庫	20191108	1	基礎立会	なし	なし
62	上川町 1743 番 1、1743 番 6	15	日影	個人住宅	20191111	1	基礎立会	なし	なし
63	長房町 1464 番 13	124	中郷	分譲住宅	20191113	1	基礎立会	なし	なし
64	中野上町五丁目 3079 番 5	82	檜原	個人住宅	20191115	1	基礎立会	なし	なし

No.	所在地または住所	遺跡No.及び遺跡名		用途	調査年月日	日数	立会内容	遺構・遺物	
		No.	遺跡名					遺構	遺物
65	小宮町 1036 番	79	小 宮町・栗ノ須	ガス	20191120	1	工事立会	なし	なし
66	中野上町 2523 番 1 の一部 (A 棟)	83	中 野甲の原	分譲住宅	20191120	1	基礎立会	なし	なし
67	中野上町 2523 番 1 の一部 (B 棟)	83	中 野甲の原	分譲住宅	20191120	1	基礎立会	なし	なし
68	横川町 696 番 1	120	弁 天池・弁天池北	分譲住宅	20191128	1	基礎立会	なし	なし
69	小宮町 952 番 1	79	小 宮町・栗ノ須	分譲住宅	20191129	1	基礎立会	なし	なし
70	下柚木字一号 62 番	1003	—	個人住宅	20191203	1	基礎立会	なし	なし
71	下恩方町 1930 番 2	41	深沢	個人住宅	20191203	1	基礎立会	なし	なし
72	滝山町二丁目 5-5	970	—	個人住宅	20191206	1	基礎立会	なし	なし
73	川口町 1738 番 1	469	—	宅地造成	20191206	1	工事立会	なし	なし
74	中野山王二丁目 1998 番イ 1 外	83	中 野甲の原	宅地造成	20191209	1	工事立会	なし	なし
75	中野上町三丁目 3281 番 6	88	西 中野	個人住宅	20191210	1	基礎立会	なし	なし
76	小宮町 664 番 17 外	79	小 宮町・栗ノ須	個人住宅	20191218	1	工事立会	なし	なし
77	長房町 1465 町 9	124	中郷	個人住宅	20191224	1	基礎立会	なし	なし
78	小宮町 844 番 2 外	79	小 宮町・栗ノ須	店舗	20191224	1	基礎立会	なし	なし

No.	所在地または住所	遺跡No.及び遺跡名		用途	調査年月日	日数	立会 い内 容	遺構・遺物	
		No.	遺 跡 名					遺構	遺物
79	小比企町 2399-1、-7、-8	158	時田	個人住宅	20200106	1	基礎立会	なし	なし
80	大和田町七丁目 2256 番 3	91	弁 天 橋	分譲住宅	20200110	1	工事立会	なし	なし
81	中山字七号 798-1	186	－	宅地造成	20200110	1	工事立会	なし	なし
82	元八王子町二丁目 11904 番 5	117	鍛 治 屋敷	分譲住宅	20200115	1	基礎立会	なし	なし
83	中野山王二丁目 2239 番 32	83	中 野 甲 の 原	個人住宅	20200121	1	基礎立会	なし	なし
84	元八王子町二丁目 1899-1	118	－	個人住宅	20200124	1	基礎立会	なし	なし
85	中野山王二丁目 1998 番イ 1 外	83	中 野 甲 の 原	共同住宅	202001227	1	基礎立会	なし	なし
86	散田町五丁目 298-6	127	－	分譲住宅	20200206	1	基礎立会	なし	なし
87	長房町 1465 番 1、1465 番 11	124	中郷	分譲住宅	20000206	1	基礎立会	なし	なし
88	丹木町一丁目 363 番 7	58	大町	共同住宅	20200207	1	基礎立会	なし	なし
89	犬目町 1041 番 1	32	中原	個人住宅	20200214	1	基礎立会	なし	なし
90	長房町	124	中郷	分譲住宅	20200219	1	基礎立会	なし	なし
91	中野町 2605 番 から 2726 番	83	中 野 甲 の 原	ガス	20200225	1	工事立会	なし	なし
92	元八王子町二丁目 1898 番 3	118	－	共同住宅	20200225	1	基礎立会	なし	なし
93	中野町 2104 番 39	83	中 野 甲 の 原	個人住宅	20200225	1	基礎立会	なし	なし
94	元八王子町三丁目 2872 番 1 外	42	八 王 子 城 跡	病院施設	20200305	1	除却立会	なし	なし

No.	所在地または住所	遺跡No.及び遺跡名		用途	調査年月日	日数	立会内容	遺構・遺物	
		No.	遺跡名					遺構	遺物
95	丹木町一丁目363番6	58	大町	共同住宅	20200305	1	基礎立会	なし	なし
96	犬目町246番4の一部	34	犬目甲の原	分譲住宅	20200306	1	基礎立会	なし	なし
97	大楽寺町456番1	80	叶谷	分譲住宅	20200316	1	基礎立会	なし	なし
98	川口町3906番から3908番	469	—	ガス	20200318	1	工事立会	なし	なし
99	中野町2523番地から2540番地	83	中野甲の原	ガス	20200319	1	工事立会	なし	なし
100	中野山王2丁目37番地	83	中野甲の原	ガス	20200319	1	工事立会	なし	なし
101	川口町1605番1外	469	—	宅地造成・共同住宅	20200319	1	工事立会	なし	なし
102	檜原町431番6外	519	—	共同住宅	20200323	1	工事立会	なし	なし
103	横川町190番5(A棟)	120	弁天池・弁天池北	分譲住宅	20200323	1	基礎立会	なし	なし
104	横川町190番5(B棟)	120	弁天池・弁天池北	分譲住宅	20200323	1	基礎立会	なし	なし
105	元八王子町二丁目1924番1外	117	鍛冶屋敷	個人住宅	20200323	1	基礎立会	なし	なし
106	大和田町一丁目15番21	982	—	分譲住宅	20200324	1	基礎立会	なし	なし
107	檜原町671番2	469	—	電柱	20200326	1	工事立会	なし	なし
108	長房町1464番1	124	中郷	分譲住宅	20200326	1	基礎立会	なし	なし

(イ) 公共事業

No.	所在地または住所	遺跡No.及び遺跡名		用途	調査年月日	日数	立会 い内 容	遺構・遺物	
		No.	遺跡名					遺構	遺物
1	中野山王一丁目 25 番先から 22 番先	93	山王 林	水道	20190405	1	試験 坑立 会	なし	なし
2	大谷町地内	101	北大 谷	公園 整備	20190509	1	工事 立会	なし	なし
3	滝山町二丁目地 先間	970	—	水道	20190905	1	試験 坑立 会	なし	なし
4	暁町二丁目 377- 1 他	90	弁天 橋西	公園 灯	20191021	1	工事 立会	なし	なし
5	石川町 1208 番先 から 1219 番先	110	塚場	水道	20200210	1	現況 立会	なし	なし
6	館町 476 番先か ら 522 番先	995	—	水道	20200227	1	試験 坑立 会	なし	なし
7	館町 92 番地先か ら 2077 番地先間	515	—	水道	20200312	1	試験 坑立 会	なし	なし

Ⅲ 文化財研究報告

八王子市No.993 遺跡の敷石住居跡について

石垣 知倫

第1章 遺跡の概要

第1節 調査に至る経緯

平成30年(2018年)12月7日、文化財保護法第93条第1項の規定に基づき、老人ホーム建設工事にともなう埋蔵文化財発掘の届出が事業者から提出された。当該地は八王子市No.993 遺跡の範囲にあたり、事業者側との調整により事前に確認調査を行うこととなった。この届出に対する東京都教育委員会からの通知は、30教地管理第3501号 平成31年1月10日である。

調査地は八王子市東浅川町514番9の一部に位置し、調査期間は平成31年(2019年)2月4日・5日・14日の3日、工事の際の立会いを2月27日に行った。

第2節 遺跡の立地と周辺の遺跡

1 遺跡の立地(図1・2、表1)

八王子市No.993 遺跡は、小比企丘陵北西部の南浅川沖積地に移行する低位段丘面に位置している。標高156cmの平坦地だが、南側は小比企丘陵へと続く斜面地で、縄文時代・平安時代の包蔵地として周知されている。これまでに土木工事に伴う試掘・確認調査が何度か実施され、これまで特に遺構等は検出されていない。

2 周辺の遺跡(図3)

八王子市No.993 遺跡と同様の低位段丘面上で北東側に隣接している八王子市No.127 遺跡は、縄文時代(早期・中期)・奈良時代・平安時代・近世の遺跡として周知されている。『八王子市史』(1967年)によれば、横山中学校校庭で工事中に敷石住居跡が確認されているが詳細は不明である。

八王子市No.993 遺跡の北側では、南浅川を挟んだ対岸の舟田丘陵上に船田遺跡・中郷遺跡が存在し、縄文時代・古墳時代・奈良・平安時代の大きな集落が分布する。船田遺跡には、昭和3年(1928年)1月18日に国史跡として指定された「船田石器時代遺跡」があるが、これは指定当時としては珍しかった敷石住居跡が指定されたものである。また南側には小比企丘陵上にある縄文時代中期の国史跡櫛田遺跡や神谷原遺跡、小比企丘陵の南側を流れる湯殿川を挟んだ多摩丘陵上には滑坂遺跡や小比企向原遺跡など大きな集落が分布する。

八王子市No.993 遺跡は、八王子市No.127 遺跡とともに、船田遺跡がある北側の遺跡群と小比企丘陵がある南側の遺跡群などの丘陵上にある遺跡と異なり、低位段丘面に位置していることになる。

第3節 層序(図4)

当該地は富士黒色土やローム漸移層、ローム層などの市内の基本的な層序は堆積しておらず、しまりがあり、粘性の強い、小から大の風化礫を含んだ再堆積土が堆積している。

I層 暗緑灰色土(5G4/1)粘性をもち、強く締まる。径30～50mmの粘土ブロック、黄褐色土の

混合土。表土。

Ⅱ層 にぶい褐色土（7.5YR5/4）粘性をもち、やや強く締まる。小粒炭、赤色スコリアを微量含む。旧表土。

Ⅲ層 暗オリーブ褐色土（2.5Y3/3）強い粘性をもち、締まる。小～中粒赤色スコリアを少量、小粒炭・礫を微量に含む。遺物包含層。

敷石住居跡土層説明

1層 暗褐色土（7.5YR3/3）強い粘性をもち、締まる。多量の径3～20mm粒の褐灰色シルト、小～大粒黄褐色風化礫、少量の小～大粒赤色スコリア、微量の小粒炭・礫を含む。

2層 黒褐色土（7.5YR3/1）強い粘性をもち、締まる。多量の径3～20mm粒の褐灰色シルト、中量の小～大の粒黄褐色風化礫、少量の小～中粒赤色スコリア、小粒炭・礫を含む。基本層序のⅢ層に類似するが、炭化物の包含量が多い。

第2章 遺構・遺物について

第1節 遺構（図5・6、写真1・3～9）

今回の調査で検出された遺構は、敷石住居跡1軒である。敷石住居跡は、直径4mほどの円形の主体部と、南側に張出部を持つ、柄鏡形と称されるものである。

主体部は全体に扁平な石が敷かれており、外周は縁石が配置され、中央には石囲炉が設けられている。石囲炉は、炉体土器は見られず、北・東・西の三方に炉石が配置され、南側は炉石のない状態で検出された。炉の規模は、0.6×0.7m程で南北方向に長軸が位置している。掘り方は北側で住居の床面から0.25m、南側で0.15mの深さで、南側から北側奥へ向かって傾斜しており、硬化・赤化が著しい。炉石はいずれも被熱痕が認められる。また、石囲炉南側の両脇には、大きめの扁平石が二つ、対称的に配置されているのが特徴的である。

張出部は、南方向に向かって伸び、主体部から1mほどまでは確認されたが、全容は不明である。

遺構の時期は、出土遺物から縄文時代中期末葉と想定される。

第2節 遺物（写真10～13）

今回の調査では縄文土器・石器が出土しているが、そのほとんどが敷石住居に伴ったものである。形式は縄文時代中期末葉の加曾利E4式である。石器は、磨り石が2点出土している。

第3章 まとめ

八王子市内の敷石住居跡の最初の発見は戦前までさかのぼる。昭和2年（1927年）に南多摩郡横山村大字梶田字峰開戸（現八王子市狭間町）で逸見敏刀氏により発掘調査が行われ、敷石住居跡1軒が確認されたのが最初である。これを契機として、同年、横山村長房字船田向（現八王子市長房町）で、地元住民からの情報を受けて逸見氏らが中心となって敷石住居跡の発掘調査が行われた。発見された遺物から、縄文時代後期の堀之内式期の住居跡と考えられている。発見当時、敷石住居跡は非常に珍しい遺構であったことから、昭和3年（1928年）1月18日に「船田石器時代遺跡」として国の史跡に指定された。昭和16年（1941年）には、北野町の由井第一小学校敷地裏で敷石住居跡が発掘された。昭和31年（1956年）3月30日に「北野石器時代住居跡」として八王子市の史跡に指定されている（昭和38年には北野町区画整理事業に伴い、付近

の北野天満社境内に敷石を移設している)。

その後は、大規模な開発事業に伴い発掘調査も広大な面積が実施され、敷石住居跡も多く確認されるようになる。代表的な遺跡は、多摩ニュータウン遺跡群、梶田遺跡群、南八王子地区遺跡群、小田野遺跡等である。

今回敷石住居跡が確認された八王子市No.993 遺跡は、これまでに開発事業にともなう試掘・確認調査が実施されているが、住居跡は検出されず、遺物も土器片が散発的に出土しているだけである（第1章 第2節）。周辺の遺跡の調査状況をみると、敷石住居跡が確認されている狭間遺跡、梶田遺跡、船田遺跡などはいずれも丘陵上に位置し、敷石住居跡のほかにも住居跡が確認されている。対照的に今回確認された敷石住居跡は、低位段丘面の立地であることと、敷石住居跡のみが単独で確認されていることが特徴的である。明確なローム層が確認されない再堆積土層である低位段丘面に、集落から外れて単独で敷石住居跡が作られている貴重な例と言えよう。

参考文献

『八王子市史』下 八王子市役所、1967 年

『新八王子市史 資料編1 原始・古代』八王子市、2013 年

『新八王子市史 通史編1 原始・古代』八王子市、2015 年



図1 調査地

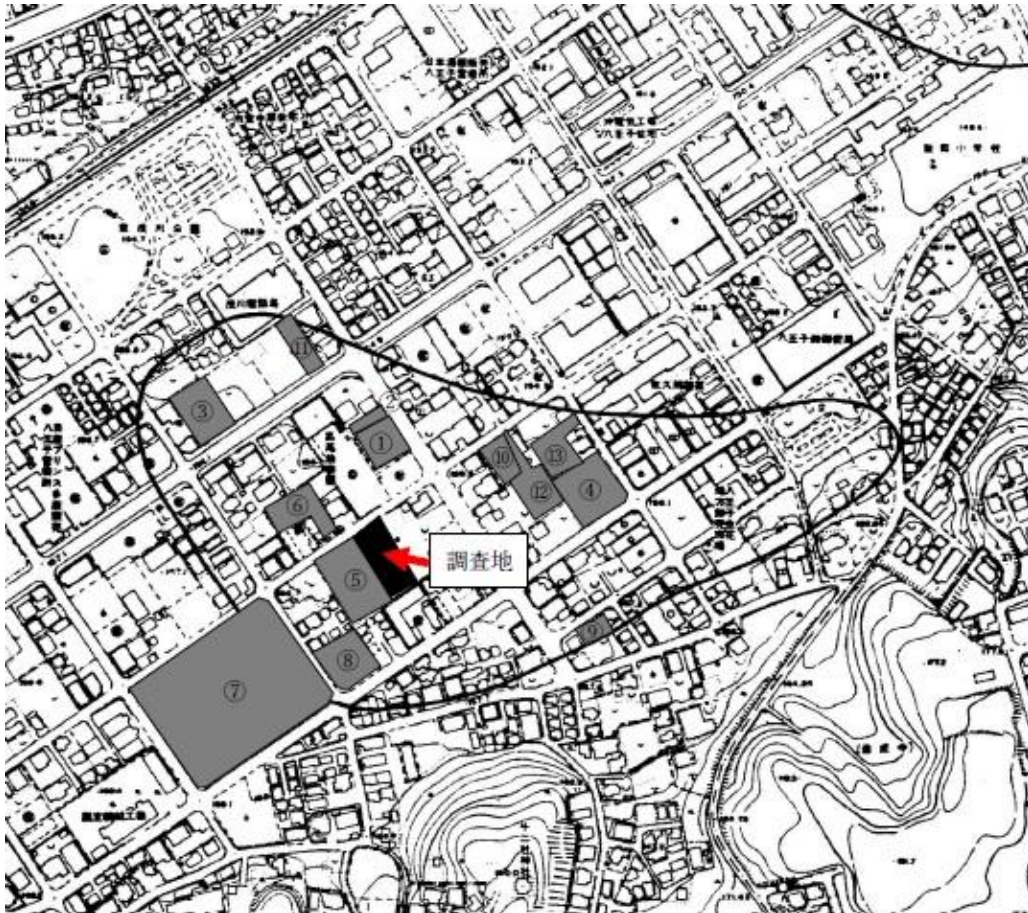


図2 八王子市No.993 遺跡の試掘・確認調査

番号	調査地	遺構	遺物	調査年月日
1	東浅川町512番2	なし	なし	1990. 12. 25
2	東浅川町515番3	なし	なし	1991. 12. 12
3	東浅川町557番6	なし	なし	1996. 5. 29
4	東浅川町508番1外	なし	土師器	1996. 11. 6
5	東浅川町514番11	なし	縄文土器	1998. 7. 27
6	東浅川町516番10外	なし	なし	2000. 1. 11
7	東浅川町520番1外	時期不明の土坑	なし	2001. 11. 27
8	東浅川町513番5外	古代の土坑	なし	2005. 7. 11
9	東浅川町511番17外	なし	なし	2007. 4. 12
10	東浅川町509番5	時期不明のピット	土師器	2012. 3. 19
11	東浅川町557番3	なし	なし	2002. 6. 14
12	東浅川町509番3外	なし	なし	2013. 9. 19
13	東浅川町508番2外	なし	土師器	2015. 2. 3

表1 八王子市No.993 遺跡の試掘・確認調査



図3 周辺の遺跡

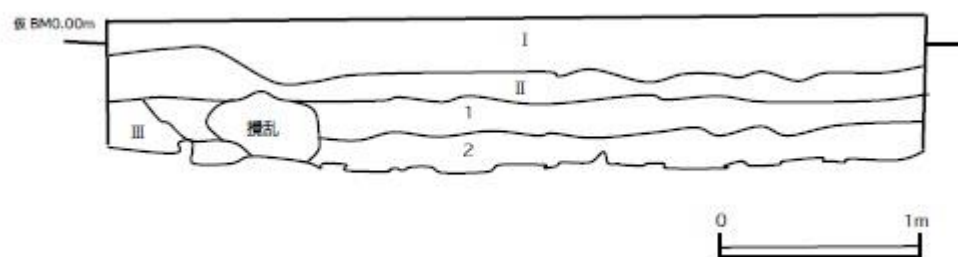


図4 層序

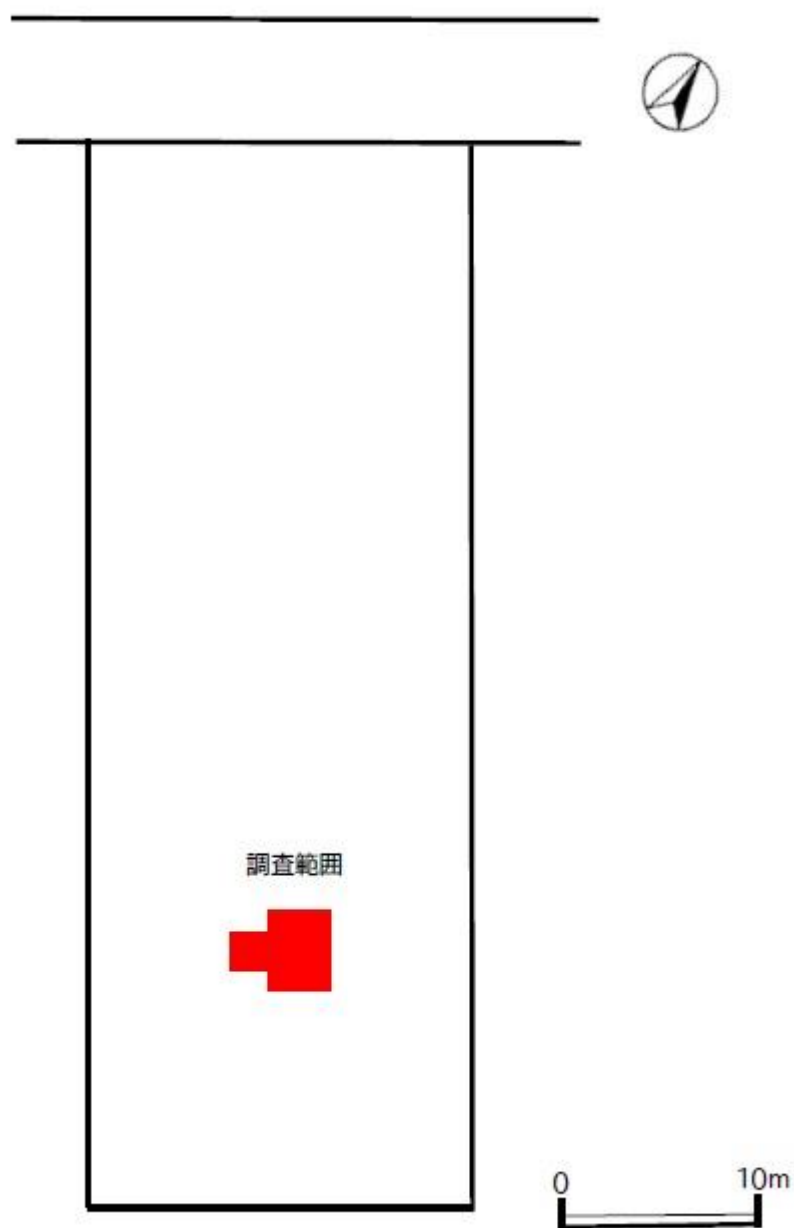


図5 調査範囲

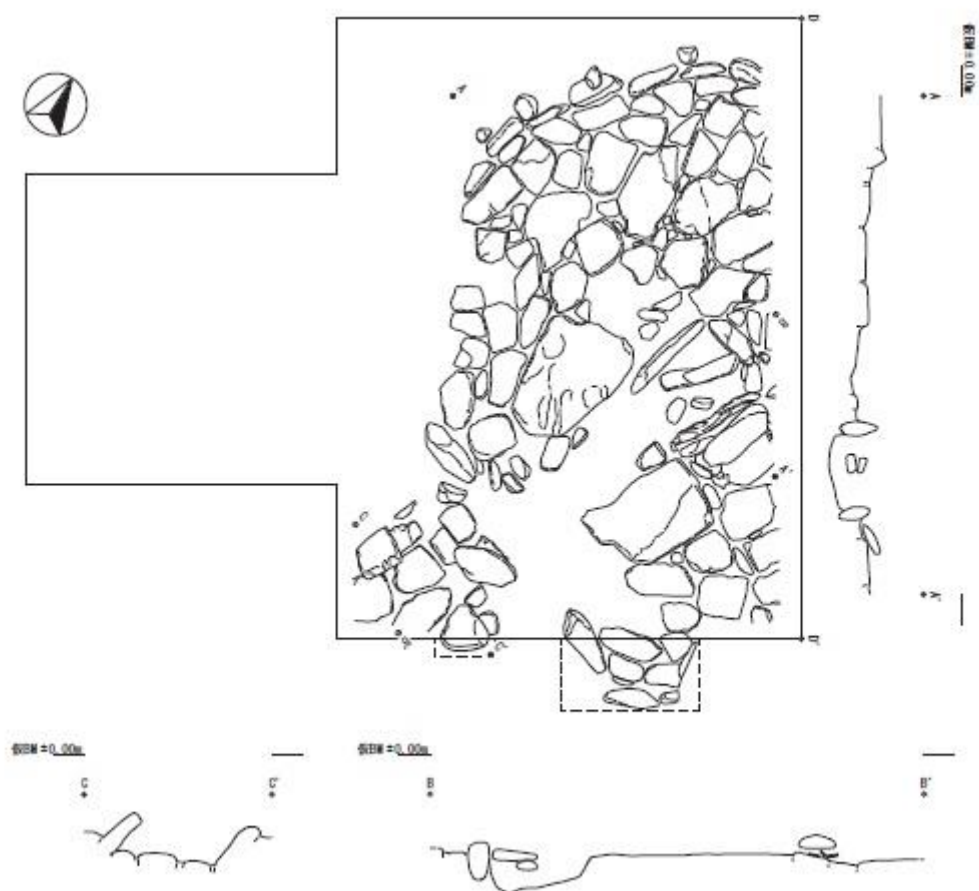


图 6 遺構平面図・断面図



写真1 敷石住居跡検出状況



写真2 調査地全景（調査前状況）



写真3 調査地全景（南から）



写真4 調査地土層堆積状況（南西から）



写真5 敷石住居跡全景（南から）



写真6 敷石住居跡全景（西から）



写真7 敷石住居跡張出部（南から）



写真8 敷石住居跡炉跡（南から）



写真9 敷石住居跡東側部



写真10 出土遺物（1）



写真11 出土遺物（2）



写真13 出土遺物（3）



写真14 出土遺物（4）

ふりがな	はちおうじしぶんかざいねんぼう							
書名	八王子市文化財年報							
副書名								
巻次	14							
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	石垣知倫							
編集機関	八王子市教育委員会生涯学習スポーツ部文化財課							
所在地	〒192-8501 東京都八王子市元本郷町三丁目24番1号							
発行年月日	2022年4月30日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	° , ’ ’’	° , ’ ’’		m ²	
はちおうじし	はちおうじしひがしあさかわまち							
八王子市	八王子市東浅川町					20190204		老人ホーム
いせき	ぼん	13201	993	35° 64’ 50’’	139° 29’ 73’’	＼	40m ²	
No.993遺跡	514番9					20190214		建設工事
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
八王子市	包蔵地	縄文	敷石住居跡 1軒		縄文土器・石器			
No.993遺跡								
要約	八王子市No.993遺跡は、それまでの試掘・確認調査では住居跡等が検出されていなかったが、今回の調査で敷石住居跡が検出され、低位段丘面に敷石住居跡が確認された貴重な事例である。							

八王子市文化財年報
第 14 号
令和元年度（2019 年度）

発行日：令和 4 年（2022 年） 4 月 30 日

編集：八王子市教育委員会生涯学習スポーツ部文化財課

八王子市元本郷町 3-24-1

TEL：042-620-7265 FAX：042-626-8554

発行：八王子市教育委員会

表紙イラスト 桑嶋 りこ